

埋蔵文化財調査報告書 93

正木町遺跡  
(第23次)

二〇二五

名古屋市教育委員会

# 埋蔵文化財調査報告書 93

正木町遺跡 (第 23 次)

2025

名古屋市教育委員会

# 埋蔵文化財調査報告書 93

正木町遺跡（第 23 次）

2025

名古屋市教育委員会

## 例 言

1. 本書は、愛知県名古屋市中区正木一丁目17番33号に所在する正木町遺跡<sup>まさきちょう</sup>の第23次発掘調査報告書である。
2. 試掘・発掘調査は、名古屋市教育委員会学校整備課（現・教育環境整備課）の依頼を受けて名古屋市教育委員会文化財保護室（現・文化財保護課）が実施した。調査期間及び担当者は以下の通りである。  
調整担当 岡 千明・深谷 淳  
試掘調査 伊藤厚史・岡 千明  
2020年（令和2）6月4日  
発掘調査 緒綱 茂・片桐妃奈子  
2020年（令和2）7月13日～9月3日
3. 調査面積は、約216.68㎡である。
4. 現地調査では、文化財保護室学芸員安田彩音が協力した。遺構図面、出土品の水洗、注記、接合実測、浄書等整理作業は、安藤明子・上田玲子・小川敦子・小浦美生・酒井史子・仲間理恵・樋上佐知子・山本雅代が行なった。
5. 出土遺物について、村木誠氏（名古屋博物館）の御教示を得た。
6. 本書の執筆は、第1章～第4章を伊藤・片桐・緒綱・樋田泰之（文化財保護課）が、第6章は伊藤・樋田が分担し、第5章は竹原弘展（（株）パレオ・ラボ）による。編集は樋田が行なった。

## 凡 例

- 1 調査記録の方位及び座標は、国土交通省告示に定められた国土座標の平面直角座標第Ⅶ系に準拠し、世界測地系（測地成果2011）にて表記している。メートル（m）単位での表記を基本とする。
- 2 標高は全てT.P.（東京湾平均海面高度）による。（T.P.+1.412=N.P.（名古屋港基準面））
- 3 遺構図や遺物実測図の縮尺は、個々の図に表示している。
- 4 調査記録・出土遺物については名古屋市教育委員会が保管している。
- 5 遺構の表記に関するものについては、下記文献を参考にした。  
文化庁文化財部記念物課『定本 発掘調査のてびき』2016 同成社

# 目 次

|                                             |       |
|---------------------------------------------|-------|
| 例 言・凡 例                                     | ii    |
| 目 次                                         | iii   |
| 挿図目次・挿表目次・写真目次                              | iv    |
| 第1章 調査の経緯                                   | 1     |
| 1 調査に至る経緯                                   | 1     |
| 2 調査の経過                                     | 2     |
| 第2章 位置と環境                                   | 3     |
| 1 地理的環境                                     | 3     |
| 2 歴史的環境                                     | 5     |
| 第3章 遺構                                      | 9     |
| 1 基本的層序                                     | 9     |
| 2 主要遺構                                      | 9     |
| 第4章 出土遺物                                    | 20    |
| 第5章 自然科学分析                                  | 40    |
| 正木町遺跡第23次発掘調査出土の石製勾玉の材質分析      竹原弘展(パレオ・ラボ) | 40    |
| 第6章 総括                                      | 41    |
| 1 調査の成果                                     | 41    |
| 1-1 有段口縁壺について                               | 41    |
| 1-2 透かし孔を持つ高坏について                           | 41    |
| 1-3 円孔透かしを持つ須恵器について                         | 42    |
| 1-4 施釉された須恵器について                            | 43    |
| 1-5 文字の書かれた器について                            | 43    |
| 2 石製勾玉                                      | 43    |
| 引用・参考文献                                     | 46    |
| 遺構写真1～7                                     | 48～54 |
| 遺物写真1～5                                     | 55～59 |
| 報告書抄録                                       | v     |

## 挿図目次

|      |                 |    |      |                                             |    |
|------|-----------------|----|------|---------------------------------------------|----|
| 第1図  | 正木町遺跡の位置        | 1  | 第15図 | 出土遺物(SX01・SK01・SK06)                        | 21 |
| 第2図  | 令和2年度試掘調査位置     | 1  | 第16図 | 出土遺物(SK06・P66)                              | 22 |
| 第3図  | 調査区 区割り・小グリッド位置 | 2  | 第17図 | 出土遺物(SK06・P66・SK07・SK08)                    | 23 |
| 第4図  | 正木町遺跡周辺 土地条件分類図 | 3  | 第18図 | 出土遺物(SK09・SK11・SK12・SK14)                   | 25 |
| 第5図  | 正木町遺跡調査地点       | 4  | 第19図 | 出土遺物(SK18・SK21・SK23<br>・SD07・SD02・SD08・ビット) | 26 |
| 第6図  | 遺跡分布図           | 8  | 第20図 | 出土遺物(ビット・整地土)                               | 28 |
| 第7図  | 遺構全体図           | 10 | 第21図 | 出土遺物(整地土)                                   | 29 |
| 第8図  | 遺構図(北半)         | 12 | 第22図 | 出土遺物(整地土・覆瓦・表土・表採/試掘調査)                     | 31 |
| 第9図  | 遺構図(南半)         | 13 | 第23図 | 有段口縁部の比較                                    | 41 |
| 第10図 | A列西壁土層断面図       | 15 | 第24図 | 透かし孔を持つ高坏                                   | 41 |
| 第11図 | B列東壁土層断面図       | 16 | 第25図 | 円孔透かしを持つ須恵器                                 | 42 |
| 第12図 | C列東壁土層断面図       | 17 | 第26図 | 牛牧遺跡出土の装飾付器台                                | 42 |
| 第13図 | 1列北壁南壁土層断面図     | 18 | 第27図 | 勾玉                                          | 45 |
| 第14図 | 2列南壁B列5・6壁土層断面図 | 19 |      |                                             |    |

## 挿表目次

|     |            |    |     |                        |    |
|-----|------------|----|-----|------------------------|----|
| 第1表 | 正木町遺跡調査一覧表 | 4  | 第4表 | 半定量分析結果                | 40 |
| 第2表 | 周辺遺跡一覧表    | 7  | 第5表 | 勾玉の材質(出典:『玉-古代を彩る至宝-』) | 44 |
| 第3表 | 遺物観察表      | 32 | 第6表 | 市内の古墳時代以降勾玉出土例         | 44 |

## 写真目次

|                            |    |                                   |    |
|----------------------------|----|-----------------------------------|----|
| 遺構写真1                      | 48 | 遺構写真6                             | 53 |
| 1 調査区全景(北から)               |    | 29 SD07 完掘・SK02・SK03・SK23 検出(西から) |    |
| 2 1列東側完掘(北西から)             |    | 30 SK23 完掘(南東から)                  |    |
| 遺構写真2                      | 49 | 31 SD08 完掘(東から)                   |    |
| 3 SX01 完掘(南東から)            |    | 32 P09・P15・P56 完掘(南東から)           |    |
| 4 SX01 完掘(北東から)            |    | 33 P24・P25・P26 周辺掘削状況             |    |
| 遺構写真3                      | 50 | 34 P40・SE01 完掘(東から)               |    |
| 5 C列北側完掘(南西から)             |    | 35 P48・SK14 完掘(東から)               |    |
| 6 B列南側完掘(南西から)             |    | 36 P70 完掘(西から)                    |    |
| 7 A列西壁 15m 付近(東から)         |    | 遺構写真7                             | 54 |
| 8 SX01aa ライン南壁堆積状況上層(南から)  |    | 37 P70 完掘・SE03 検出(南西から)           |    |
| 9 SX01aa ライン南壁堆積状況下層(南から)  |    | 38 P83 完掘(南から)                    |    |
| 10 B列東壁 20m 付近(西から)        |    | 39 SD09 検出(南から)                   |    |
| 11 C列東壁 4m 付近(西から)         |    | 40 SD10 完掘(南から)                   |    |
| 12 1列北壁 12m 付近(南から)        |    | 41 試掘トレンチ1(東から)                   |    |
| 遺構写真4                      | 51 | 42 試掘トレンチ1 東壁(西から)                |    |
| 13 1列南壁(北東から)              |    | 遺物写真1                             | 55 |
| 14 2列完掘(東から)               |    | 遺物 No.1 ~ 44                      |    |
| 15 B列KL ライン西壁(東から)         |    | 遺物写真2                             | 56 |
| 16 B列RQ ライン北壁 1.5m 付近(北から) |    | 遺物 No.45 ~ 67                     |    |
| 17 B列TS ライン東壁 1.5m 付近(東から) |    | 遺物写真3                             | 57 |
| 18 SX01 堆積状況(南東から)         |    | 遺物 No.68 ~ 92                     |    |
| 19 SK01 完掘(西から)            |    | 遺物写真4                             | 58 |
| 20 SK06・P66 完掘(北西から)       |    | 遺物 No.93 ~ 134                    |    |
| 遺構写真5                      | 52 | 遺物写真5                             | 59 |
| 21 SK07 完掘(北から)            |    | 遺物 No.135 ~ 149                   |    |
| 22 SK08 完掘(北から)            |    | 参考写真 尾張元興寺跡 第16次調査 SK08 覆瓦口縁部     |    |
| 23 SK09 完掘(南から)            |    |                                   |    |
| 24 SK11 完掘(南から)            |    |                                   |    |
| 25 SK14 完掘(西から)            |    |                                   |    |
| 26 SK18 周辺掘削状況(南東から)       |    |                                   |    |
| 27 SK18 完掘(北東から)           |    |                                   |    |
| 28 SK21 掘削状況(西から)          |    |                                   |    |

## 第1章 調査の経緯

### 1 調査に至る経緯

令和2(2020)年、名古屋市教育委員会学校整備課(現・教育環境整備課)では市立正木小学校仮設校舎の建設を計画した。

当該地は小学校の敷地全域が周知の埋蔵文化財包蔵地である正木町遺跡に該当している。また、当該地には過去にプールが設置されていたが、昭和58(1983)年に工事に先立って実施した試掘調査の結果に基づき、建設工事は遺物包含層に至らない掘削深度で実施されていた。遺跡の残存が想定され



第1図 正木町遺跡の位置

ため、名古屋市教育委員会文化財保護室(現・文化財保護課)は速やかに文化財保護法第94条第1項の規定による通知を提出すること、また試掘調査を実施して現状を確認することを学校整備課に伝えた。学校整備課は令和2(2020)年5月28日付2教学整第34号で文化財保護法第94条第1項の規定に基づく発掘の通知を提出した。

試掘調査は令和2(2020)年6月4日に実施した。1m×2mのトレンチを7か所設定した。トレンチ1では、溝状遺構が検出されたため、西方向に長さ5.8m延長して掘削した。各トレンチの内容は以下の通りである。

#### トレンチ1

- 1層(地表面から0.6～1.2m): プール解体に伴う攪乱土
- 2層: 暗灰色粘質土(近代・尋常小学校期か)
- 3層: 暗灰色粘質土(近世初頭、整地土か)
- 4層: 灰褐色粘質土、地山ブロック多く混じる(整地土か)
- 5層: 黒褐色粘質土、地山ブロック少し混じる(溝埋土か弥生～古墳時代遺物含む)
- 6層: 明褐色粘質土(熱田層地山)

#### トレンチ2

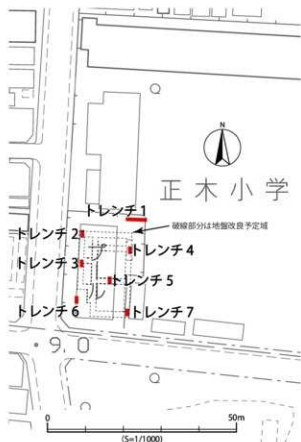
- 1層: 攪乱土
- 2層: 茶褐色砂質土
- 3層: 茶褐色砂質土(2層よりやや明るく地山ブロック混じる)
- 4層: 灰色粘質土、明褐色地山ブロック、黄色砂ブロック混じる(整地土か)
- 5層: 黄色砂層(熱田層地山)

#### トレンチ3

- 1層: 攪乱土
- 2層: 茶褐色砂質土(2トレンチ2層と同じか)
- 3層: 2層より均質土、弥生土器片含む
- 4層: 黄色粘質土(整地土か)
- 5層: 茶褐色粘質土、明褐色地山ブロック多く混じる
- 6層: 明褐色粘質土(熱田層地山)

トレンチ4・5・7 包含層、遺構なし。

トレンチ6 弥生土器片を含むビートの一部残存。



第2図 令和2年度試掘調査位置

名古屋市「名古屋市計画基本図2,500分の1」「自置」(2015)を基図とした。

## 2 調査の経過

試掘調査の結果から、仮設校舎の基礎部分について記録保存のための発掘調査が必要と判断された。6月15日付2文芸第851号で愛知県から発掘調査の指示があり、7月13日から調査を開始した。

発掘調査区は基礎工事範囲に合わせて格子状を呈していたため、南北列をA～C列、東西方向を1～6列とし、交差する地点をA1、B1…として出土遺物を取り上げた。

B列4～6間で地山ブロックが多く混じる黒褐色土層が確認されたため、先行トレンチを入れて堆積状況を調べつつ、小グリッドを設定して遺物を取り上げた。この黒褐色土層は周辺の発掘調査でも確認されており、中世以降の大規模な整地に伴うものと考えられている。中世以前の遺構は希薄であった。

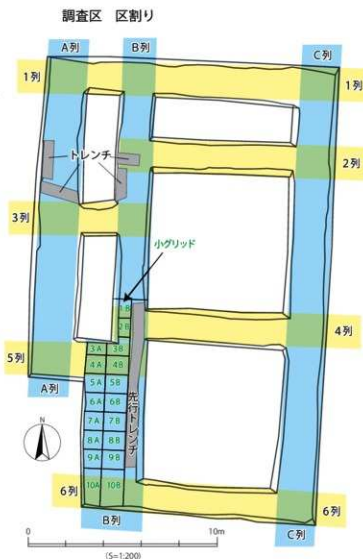
また、当該地は明治40(1907)年の小学校建設以来、校舎、講堂、プールと施設の建て替えが頻繁にあったため、包含層の多くは削平され、遺構の残存状況は良好でなかった。

現地調査は9月3日に終了した。文化財保護法第99条の規定による完了報告は、9月9日付2教文第155号で愛知県県民文化局長あて提出された。

### 〈調査日誌抄〉

令和2(2020)年

- 7月20日 表土除去開始。1列を東から掘削。
- 7月21日 表土除去を進める。
- 7月29日 4列からB列に黒褐色土確認。須恵器出土。
- 8月4日 B列南側に整地土及び地山の堆積を確認するため先行トレンチを東側に設定。
- 8月5日 A列北側でSX01確認。
- 8月6日 SK01 清掃後土層断面撮影。
- 8月7日 B列南部に小グリッド設定。
- 8月18日 正木小児童見学。
- 8月22日 調査区東壁(C列)土層断面写真撮影。  
C列南部実測作業。
- 8月24日 4列西遺構掘削。SK07 完掘。
- 8月26日 清掃、全景写真撮影。
- 8月27日 SX01 掘削。5AGr.勾玉出土。
- 8月28日 B列最北端で遺構の複数の重複を確認。
- 8月29日 埋戻し作業始める。
- 9月2日 埋戻し作業、SX01土層図作成。
- 9月3日 埋戻し作業完了、器材撤収。



第3図 調査区 区割り・小グリッド位置

## 第2章 位置と環境

### 1 地理的環境

正木町遺跡は、現在の名古屋市中区正木一・二丁目および古渡町の一部にかけて所在し、範囲は東西約330 m、南北約300 mにわたると推定されている。

当該地は熱田層と呼ばれる海成由来の砂とシルト、粘土の互層で構成される洪積台地（熱田台地）上に立地している。台地は河川等の浸食により開析されており、旧精進川・大曾根面（低地）をはさんで西側の南北に長く伸びる部分は、那古野（北半）・熱田（南半）、東側は北から千種・御器所・瑞穂台地と呼称されている。さらに瑞穂台地は山崎川により南側の笠寺台地と分かれる。

正木町遺跡はこのうち那古野・熱田台地中央の西縁、標高8～9 mに立地する（第4図）。西縁直下に



第4図 正木町遺跡周辺 土地条件分類図

ベースマップは国土地理院「基礎地図情報・基本項目」（2025年1月1日時点）、国土地理院「地理院タイル・数値地図25000（土地条件）」（2025年1月1日時点）を使用し、等高線データなどを含めて、オープンソースソフト QGIS（ver3.28.15）で編集・出力した。

## 第2章 位置と環境

は名古屋城築城に際して開削された堀川が流れ、台地の北端には名古屋城、南端には熱田神宮を擁し、名古屋の歴史を語る上で極めて重要な台地である。

当該地はかつて尾張国愛智郡古渡村に属していたが、明治11(1878)年に古渡町から分離して名古屋区(明治22(1889)年～名古屋市、明治41(1908)年～名古屋市中区)正木町となった。昭和52(1977)年に正木一～三丁目、昭和55(1980)年に正木一～四丁目に変更され、現在に至っている。町内には鎮守である聞之森八幡社があり、源為朝による勧請とされている。



第5図 正木町遺跡調査地点

名古屋市「名古屋都市計画基本図 2,500分の1」(「日置」(2020)を基本図とした。

第1表 正木町遺跡調査一覧表

| 調査年調査次 | 面積<br>(m <sup>2</sup> ) | 調査主体             | 主な遺構                            | 主な出土遺物                                      | 報告書・参考文献など                                                                                          |
|--------|-------------------------|------------------|---------------------------------|---------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1951   | —                       | 7 北村誠夫           | 貝層、縄目土層                         | 弥生土器、土師器、初期須恵器、須恵器、小玉、鹿角、銅製石製模造品            |                                                                                                     |
| 1952   | —                       | 40 南山大学          | 貝層                              | 弥生土器、土師器、須恵器、鹿角、銅製、小玉、銅石製模造品                | 堀江理也 1953「愛知県名古屋市正木町貝層」『日本考古学年報 5』日本考古学協会                                                           |
| 1969   | —                       | 伊藤祐樹             | 縄目土層、聖穴建物(古墳)                   | 弥生土器、土師器、初期須恵器、須恵器                          | 伊藤祐樹 1969「正木町遺跡調査速報一破城に関する問題点」『名古屋考古学会会報第12号』<br>伊藤祐樹・小林義孝 1991「尾張正木町遺跡出土の初期須恵器」『名式系土器研究Ⅱ』株式会社土器研究会 |
| 1982   | 試掘                      | 52.5 名古屋市教育委員会   | —                               | 弥生土器、須恵器、近代陶器                               | 名古屋市見附台考古資料館 1983「試掘調査概要報告書 Ⅲ 正木町遺跡(中区正木町正木小学校所在)」昭和57年度「埋蔵文化財発掘調査概要報告書」名古屋市教育委員会                   |
| 1985   | 1次                      | 995.48 名古屋市教育委員会 | 聖穴建物(古墳)、井戸(中世)、石垣溝(近世)、防壁壕(近代) | 土師器、須恵器、陶器、山系陶器、中世煮漆器、鏡、近世陶磁器、銅製            | 竹内宇哲 1985「正木町遺跡発掘調査概要報告書」名古屋市教育委員会                                                                  |
| 1987   | 2次                      | 180 名古屋市教育委員会    | ベツト(古墳～中世)                      | 弥生土器、土師器、須恵器、灰輪陶器、山系陶器、土師器、青磁碗、中世陶器、銭貨、陶製防鉢 | 竹内宇哲 1988「正木町遺跡第2次発掘調査概要報告書」名古屋市教育委員会                                                               |
| 1988   | 3次                      | 625 名古屋市教育委員会    | 聖穴建物(古墳・古代)、掘立柱建物(中世)、大溝(中世)    | 弥生土器、土師器、須恵器、山系陶器                           | 竹内宇哲 1989「正木町遺跡第3次発掘調査概要報告書」名古屋市教育委員会                                                               |
| 1991   | 4次                      | 350 名古屋市教育委員会    | 聖穴建物(古墳)、大溝(中世)、井戸(近世～近代)       | 土師器、初期須恵器、須恵器、移動式甕、中世陶磁器、鉄器                 | 野口泰子ほか 1991「正木町遺跡第4次発掘調査概要報告書」名古屋市教育委員会                                                             |

| 調査年度調査区   | 面積<br>(m <sup>2</sup> ) | 調査主体          | 主な遺構                                 | 主な出土遺物                                                        | 報告書・参考文献など                                                             |
|-----------|-------------------------|---------------|--------------------------------------|---------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------|
| 1995 5 次  | 750                     | 名古屋大学教育委員会    | 方形周溝墓(弥生)、竪立柱建物(古代)、竪穴建物(古代)、防空壕(近代) | 赤土土器、手焙り土器、土師器、須恵器、山形陶器                                       | 野上泰子 1996 「正木町遺跡」第5次調査の概要―名古屋大学教育委員会                                   |
| 1995 ー    | 800                     | 南山大学          | 竪穴建物(古墳)、井戸(古代)                      | 土師器、初期須恵器、須恵器、灰釉陶器、山形陶器、灰付、小判                                 | 伊藤和男・原久子ほか 1997 「正木町遺跡発掘調査報告書」南山大学大学院考古学研究所第7冊 南山大学大学院考古学研究所           |
| 1995 6 次  | 145                     | 名古屋大学教育委員会    | 竪穴建物(古墳)、大溝(中世)                      | 土師器、初期須恵器、須恵器、陶製紡錘車、滑石製玉、山形陶器、近世陶磁器                           | 木村有作 1996 「正木町遺跡第6次発掘調査概要報告書」名古屋大学教育委員会                                |
| 1997 7 次  | 80                      | 名古屋大学教育委員会    | ビット(中世)                              | 赤土土器、土師器、初期須恵器、須恵器、灰釉陶器、山形陶器、中近世陶磁器                           | 田原和美 1998 「正木町遺跡(第7次)」『埋蔵文化財調査報告書29』名古屋大学文化財調査報告 29 名古屋大学教育委員会         |
| 1997 8 次  | 80                      | 名古屋大学教育委員会    | 溝(中世)、防空壕(近代)                        | 土師器、初期須恵器、須恵器、滑石製玉、山形陶器、中世・近世・近代陶磁器、灰道具、ガラス類                  | 伊藤和男 1998 「正木町遺跡(第8次)」『埋蔵文化財調査報告書29』名古屋大学文化財調査報告 29 名古屋大学教育委員会         |
| 1997 9 次  | 100                     | 名古屋大学教育委員会    | 土坑(古代)                               | 縄文土器、赤土土器、土師器、初期須恵器、須恵器、灰釉陶器                                  | 田原和美 1998 「正木町遺跡(第9次)」『埋蔵文化財調査報告書29』名古屋大学文化財調査報告 29 名古屋大学教育委員会         |
| 1998 10 次 | 85                      | 名古屋大学教育委員会    | 土坑・ビット(近世～近代)                        | 土師器、初期須恵器、須恵器、古代瓦、灰釉陶器、山形陶器、近世・近代陶磁器                          | 田原和美 1999 「正木町遺跡第10次発掘調査報告書」名古屋大学教育委員会                                 |
| 1999 11 次 | 32                      | 名古屋大学教育委員会    | 土坑(古墳～古代、近世)、大溝(中世)、防空壕(近代)          | 土師器、須恵器、埴輪または移動式甕、古代瓦、灰釉陶器、山形陶器、近世陶磁器                         | 伊藤正人 2000 「正木町遺跡第11次」『埋蔵文化財調査報告書34』名古屋大学文化財調査報告 46 名古屋大学教育委員会          |
| 2000 12 次 | 56                      | 名古屋大学教育委員会    | ビット(古墳・古代)、大溝(中世・近世)、道路(近代)          | 土師器、初期須恵器、須恵器、埴輪、古代瓦、灰釉陶器、中近世陶磁器                              | 木村有作 2001 「正木町遺跡(第12次)」『埋蔵文化財調査報告書38』名古屋大学文化財調査報告 51 名古屋大学教育委員会        |
| 2000 13 次 | 90                      | 名古屋大学教育委員会    | 土坑・ビット(古代・中世)、土師器、中世煮炊具、中近世陶器、青磁、瓦葺  | 土師器、須恵器、埴輪または移動式甕、古代瓦、灰釉陶器、山形陶器、中近世陶磁器、青磁、瓦葺                  | 野澤剛幸 2001 「正木町遺跡(第13次)」『埋蔵文化財調査報告書38』名古屋大学文化財調査報告 51 名古屋大学教育委員会        |
| 2001 14 次 | 70                      | 名古屋大学教育委員会    | 竪穴建物(中世以降)                           | 赤土土器、土師器、初期須恵器、須恵器、中世陶器                                       | 村本誠 2003 「正木町遺跡第14次発掘調査」『埋蔵文化財調査報告書41』名古屋大学文化財調査報告 54 名古屋大学教育委員会       |
| 2001 15 次 | 110                     | 名古屋大学教育委員会    | 竪穴建物(中世以降)                           | 土師器、初期須恵器、須恵器、移動式甕、埴輪、製塩土器、山形陶器                               | 藤井康隆 2003 「正木町遺跡第15次発掘調査」『埋蔵文化財調査報告書41』名古屋大学文化財調査報告 54 名古屋大学教育委員会      |
| 2003 16 次 | 53                      | 名古屋大学教育委員会    | 竪穴建物(中世以降)                           | 赤土土器、土師器、須恵器、移動式甕、灰釉陶器、山形陶器、中近世陶磁器                            | 伊藤正人・深谷淳 2004 「正木町遺跡(第16次)」『埋蔵文化財調査報告書49』名古屋大学文化財調査報告 63 名古屋大学教育委員会    |
| 2004 17 次 | 83                      | 名古屋大学教育委員会    | 竪穴建物(古代)、溝(古代)                       | 土師器、須恵器、古代瓦                                                   | 藤井康隆 2005 「正木町遺跡(第17次)」『埋蔵文化財調査報告書51』名古屋大学文化財調査報告 65 名古屋大学教育委員会        |
| 2004 ー    | 1,000                   | 株式会社イソック      | 竪穴建物(古墳・古代)、井戸(時期不明)                 | 赤土土器、土師器、須恵器、灰釉陶器、石製紡錘車、銅製土製品、土器製製刀、煙管、燧発                     | 近藤貞人・田中浩二 2006 「正木町遺跡発掘調査報告書 シティコーポ正木建設に伴う発掘調査」名古屋市住宅供給公社              |
| 2004 ー    | 771                     | 株式会社バスコ       | 竪穴建物 2 層(中世以降)                       | 土師器、須恵器、古代瓦、灰釉陶器、山形陶器、近世陶磁器                                   | 岡本敦子 2005 「平成 16 年度 正木町遺跡発掘調査報告書 名鉄不動産マシソン建築工事にかかる埋蔵文化財発掘調査」名鉄不動産株式会社  |
| 2005 18 次 | 100                     | 名古屋大学教育委員会    | 竪穴建物(古墳)、溝(古墳・古代・中世)                 | 赤土土器、土師器、棒状鉄製品、初期須恵器、須恵器、スサ入り粘土、陶形洋、山形陶器、中近世陶磁器、青磁、中世煮炊具、銅製土器 | 藤井康隆・深谷淳 2006 「正木町遺跡(第18・19次)」『埋蔵文化財調査報告書53』名古屋大学文化財調査報告 68 名古屋大学教育委員会 |
| 2005 19 次 | 100                     | 名古屋大学教育委員会    | ビット(古墳・古代)、竪穴建物(中世以降)                | 赤土土器、土師器、初期須恵器、須恵器、新玉                                         | 藤井康隆 2006 「正木町遺跡(第18・19次)」『埋蔵文化財調査報告書53』名古屋大学文化財調査報告 68 名古屋大学教育委員会     |
| 2006 立会   | 55                      | 名古屋大学教育委員会    | 溝(近世)                                | 初期須恵器、須恵器、近世陶磁器、近世瓦、銅製土器、銅形洋                                  | 深谷淳 2007 「正木町遺跡(立会調査)」『埋蔵文化財調査報告書55』名古屋大学文化財調査報告 70 名古屋大学教育委員会         |
| 2007 20 次 | 90                      | 名古屋大学教育委員会    | 竪穴建物(古代)、溝(古代)                       | 埴輪、土師器、初期須恵器、須恵器、近世陶磁器                                        | 水野裕之 2007 「正木町遺跡第20次発掘調査報告書」名古屋大学教育委員会                                 |
| 2008 21 次 | 60                      | 名古屋大学教育委員会    | 土坑(古墳・古代・近代)、溝(古代・近代)                | 土師器、須恵器、土師器、初期須恵器、須恵器、新玉、移動式甕                                 | 田原和美 2008 「正木町遺跡(第21次)」『埋蔵文化財調査報告書58』名古屋大学文化財調査報告 74 名古屋大学教育委員会        |
| 2010 ー    | 165                     | ナカシクリエティブ株式会社 | 竪穴建物(古代)、竪立柱建物(古墳以降)、溝(古代)           | 土師器、須恵器、埴輪土器、灰釉陶器、山形陶器、近世陶磁器                                  | 日置重典 2011 「正木町遺跡 正木一丁目3番地内埋蔵文化財調査報告書」ナカシクリエティブ株式会社                     |
| 2011 ー    | 205                     | ナカシクリエティブ株式会社 | 竪穴建物(古墳・古代)、大溝(中世・近世)、竪立柱建物(近世)      | 土師器、須恵器、石製紡錘車、灰釉陶器、銅製土器、スサ入り粘土、滑石製玉、刀子、陶器、近世陶磁器               | 大杉規之・大西美都 2012 「正木町遺跡 正木一丁目7番地内埋蔵文化財発掘調査報告書」東建コーポレーション株式会社             |
| 2020 22 次 | 38                      | 名古屋大学教育委員会    | 土坑・ビット(古墳・古代)                        | 土師器、須恵器                                                       | 安田彩音 2021 「正木町遺跡(第22次)」『埋蔵文化財調査報告書92』名古屋大学文化財調査報告 109 名古屋大学教育委員会       |
| 2020 23 次 | 216.68                  | 名古屋大学教育委員会    | 土坑(中世)、竪穴建物(中世以降)                    | 土師器、須恵器、山形陶器、勾玉、近世・近代陶磁器                                      | 本書                                                                     |

## 2 歴史的環境

正木町遺跡は、弥生時代から中世にかけての集落遺跡である。なかでも古墳時代から古代にかけて発展した遺跡として、名古屋の歴史上重要な位置を占めている。正木町遺跡の東には古沢町遺跡、南には伊勢山中学校遺跡、尾張元興寺跡、金山北遺跡、東古渡町遺跡と共通した時代・内容をもつ遺跡が続くことから、古渡遺跡群とも総称されている。

正木町遺跡は、昭和 26 (1951) 年に民間研究者により初めて発掘調査が実施され、古墳時代の竪穴建物が報告されている。名古屋大学教育委員会の調査は、昭和 60 (1985) 年の名古屋都市高速道路建設によ

るものが第1次調査であり、これまで調査を行なった箇所は民間発掘会社等が実施したものも合わせると30を超える(第5図・第1表)。

縄文時代の遺構・遺物については、周辺では古沢町遺跡や富士見町遺跡などで縄文時代後～晩期の土器や土坑などが確認されているが、正木町遺跡では希薄である。

弥生時代中期後半になると、遺跡の西縁に方形周溝墓(第5次調査)がみられるようになるが、大規模な集落に発展するのは古墳時代(5世紀以降)である。住居跡などから鉄鉋・棒状鉄製品(第4次調査)、初期須恵器や韓式系土器など特徴的な遺物が出土している。隣接する伊勢山中学校遺跡(第5次調査)でも鉄鉋、初期須恵器が出土している。また、周辺には銅鏡、冑、挂甲、馬具、鈴釧など豊富な副葬品を持つ大須二子山古墳をはじめとする多くの古墳が築かれた。古代以降の開発によりほとんどが削平されているが、東古渡町遺跡(第3次調査)などで周溝が確認されている。

奈良～平安時代には、7世紀代を中心に大型掘立柱建物群(第5次調査・ナカシャクリエイテブ(株)2011)が確認されており、底部に「黒見田」と刻書された長頸壺や陶馬(第1次調査・ナカシャクリエイテブ(株)2011)、羊形硯(第13次調査)などが出土している。政治・交通に関わる拠点的な集落があったことが想定される。南には7世紀半ば頃に創建された、尾張最古級の寺院である尾張元興寺跡がある。古代の大規模な集落跡としては南東に金山北遺跡があり、8世紀代の大型掘立柱建物群が確認されている。

正木町遺跡の北端、現在の名古屋都市高速道路の位置には、東西方向に古代東海道が通っていたと推定されており、中世以降も重要な街道であった(小栗街道)。古渡の地名は、台地東縁に渡し場があったことから名づけられたとする説(名古屋府城志)、また西縁から海部郡大日尊へ参拝する人が当地から渡航していたことによるという説もある。正木町遺跡第1次調査では古代の溝から牛・馬骨が、伊勢山中学校遺跡(第4次調査・第6次調査)では中世の溝から馬骨が多数出土しており、人々や物資の行き交う交通の要衝地であったことが想像される。室町時代には、こうした台地上の交通の要衝には城館が築かれるようになる。周辺では古渡城や那古野城の名が知られているが、伊勢山中学校遺跡(第4次調査)や古沢町遺跡(第2次調査)でも大規模な堀が検出されている。付近には「九丁堀」の地名があり、東方丘陵からの道は、ちょうどこの付近につながる。城主は不明であるが、尾頭次郎の伝説が地元には伝わっている。

名古屋城築城後の正木町遺跡周辺は本町筋の延長線の西側、城下町の外縁にあたり、正徳3(1713)年に丹羽郡石枕村から古渡稲荷社が移築されてきた。稲荷社や闇森八幡社以外は畑地であった。城下の橘町とは大木戸で隔離されていたが、近接していたため早くから町場の形成が進んでいた。そのため享保13(1728)年には町続きに組み込まれ、村方支配から町方支配に組み込まれることとなった。享保17(1732)年には東輪寺西裏に西小路遊郭、古渡稲荷の南に葛町遊郭が置かれた(元文元(1736)年の火災後廃絶)。天保年間(1830～44)には藩の施設(御船手新組、軍事奉行小吏)が置かれていた。正木町遺跡の発掘調査では遺物包含層や熱田層上面が削平されていることがしばしばあるが、この藩施設の範囲にあたるのが指摘されている(ナカシャクリエイテブ(株)2012)。周辺では真宗大谷派名古屋別院の建設もしくは改築にあたっては地山上位が削平されている。藩施設建設にあたり、大規模な削平を行なう意図はまだ明らかになっていない。

第2表 周辺遺跡一覧表

| 市道跡番号  | 道跡名称     | 種別        | 時代          | 概況                               | 現況 |
|--------|----------|-----------|-------------|----------------------------------|----|
| 07-011 | 岩井通貝塚    | 貝塚        | 縄文・弥生・中世    | 昭和28年(1953)発見。縄文土器、弥生土器、山茶碗。     | 残存 |
| 07-012 | 筑前町道跡    | 遺物散布地     | 縄文・古墳・中世    | 石甕、須恵器、中世陶器。                     | 残存 |
| 07-013 | 日置城跡     | 城跡跡       | 中世～近世       | 中世陶器、近世陶器。                       | 残存 |
| 07-014 | 西脇町道跡    | 遺物散布地     | 弥生          | 弥生土器。                            | 残存 |
| 07-015 | 大須二子山古墳  | 古墳        | 古墳          | 前方後円墳。円筒埴輪、銅鏡、冑、桂甲、馬具、鈴銅。        | 滅失 |
| 07-016 | 松原道跡     | 遺物散布地     | 弥生・古墳・中世    | 弥生土器、須恵器、山茶碗。                    | 残存 |
| 07-017 | 古波城跡     | 城跡跡       | 弥生・中世       | 弥生土器、中世陶器、名古屋学院関連遺構。             | 残存 |
| 07-018 | 富士見町道跡   | 貝塚、遺物散布地  | 弥生・古墳・中世・近世 | 昭和41年(1966)発見。溝、土坑、方形周溝墓、中世陶器など。 | 残存 |
| 07-019 | 正木町道跡    | 貝塚、遺物散布地  | 弥生～近世       | 弥生土器、土師器、須恵器、石製模造品、白玉、山茶碗、近世陶器。  | 残存 |
| 07-020 | 伊勢山中学校道跡 | 集落跡、遺物散布地 | 弥生・古墳・中世    | 弥生土器、土師器、須恵器、山茶碗。                | 残存 |
| 07-021 | 古沢町道跡    | 貝塚、遺物散布地  | 縄文～奈良       | 縄文土器、石斧、土偶、弥生土器、土師器、須恵器、瓦。       | 残存 |
| 07-022 | 尾張元興寺跡   | 寺院跡       | 奈良～中世       | 須恵器、土師器、瓦、水煙、灰釉陶器、中世陶器。          | 残存 |
| 07-023 | 東古渡町道跡   | 貝塚、遺物散布地  | 弥生～中世       | 方墳、縄文土器、弥生土器、家形埴輪、須恵器、暗文土師器、青磁。  | 滅失 |
| 07-028 | 金山北道跡    | 集落跡、遺物散布地 | 弥生～近世       | 方形周溝墓、須恵器、土師器、灰釉陶器、中世陶器、近世陶器。    | 残存 |
| 12-026 | 新尾頭1丁目道跡 | 集落跡       | 弥生～中世       | 方形周溝墓、弥生土器、須恵器、山茶碗、土甕、白玉、碧玉。     | 残存 |



第6図 遺跡分布図

名古屋市『名古屋都市計画基本図』『日置』『尾張橋』(2020)を基本図とした。

## 第3章 遺構

### 1 基本的層序

当地は、プール建設以前にも校舎や講堂など学校の施設が建設されていたこともあり、調査区のほぼ全体、地表面から0.6～1.2mまでが攪乱されていた。北東部・南東部で近代の煉瓦を積んだ土坑(SK05・SK21)が確認されているが、調査区の外周に多く打設されていたプール建築に伴う構造物と考えられる基礎杭(コンクリートパイル)により破壊されていた。この攪乱を縫うように中世以降の土木普請(整地)の痕跡と考えられる地山をブロック状に含んだ黒褐色～褐色の粘質土が確認できた。この粘質土は色の明度や砂質で2層に分けられる箇所もある。主に調査区の西半分で確認され、東端のC列では確認できなかった。この粘質土には、弥生土器・土師器・須恵器・灰軸陶器などが含まれる。各地点の土層は第10図～第14図に示した。

### 2 主要遺構

今回の調査対象面積は216.68m<sup>2</sup>である。出土遺物は須恵器、土師器、陶磁器が主体で27リットルのコンテナケース6箱である。中世以降の大規模な整地と近現代の作事により、攪乱が多く、時期を断定可能な遺構は少ない(第7～9図)。なお、検出確認時に明確に近代以降の攪乱と想定できたものについては遺構記号をKと付した。ここでは実測遺物を掲げた遺構を主要遺構として述べる。

**SX01** A列2～3に位置する土坑。検出長は南北約7.4m、東西約2.4m、深さ2.6mで調査区西側へと続く。遺構の北側1/4は基礎杭の攪乱により未掘となっているが平面形状は円形か。6つの段が確認される。土層は第10図に示した。

出土遺物(1～13)の大半は古墳時代、古代のものである。最も新しいもので中世末の陶器鉢が含まれ、底面に近い部分からも古瀬戸の碗や擂鉢、煮沸具が出土している。人為的に幾かに渡って埋め戻されており、大規模な整地の一環である可能性を指摘したい。付近の尾張元興寺跡第10次SK15や伊勢山中学校遺跡第6次SK46、第13次SX010のような中世の大型土坑に類するか。

**SK01** B列3～4に位置する土坑。検出長は南北約1.5m、東西約1.3m、深さ0.2～0.3mで調査区東へと続く。南半分は攪乱により滅失している。

出土遺物は土師器高環(14)、陶器植木鉢(15)である。埋没時期は、近世後半以降か。

**SK06・P66** ともにC列1～2に位置する方形の土坑でP66はSK06を切る。SK06は検出長は南北約2.6m、東西約0.9m、深さ約0.6m、P66の検出長は南北約0.9m、東西約0.3m、深さ約0.3mで調査区北東へと続く。SK06の北半分は基礎杭の攪乱により未掘となっている。遺構の北寄りで少なくとも6段の煉瓦によって構造物が組まれている。P66の埋土はSK06よりやや地山を多く含むが違いは少ない。

SK06の出土遺物(16～36・45)は近世～近代の陶磁器が大半である。19世紀後半の常滑焼赤物の甕が含まれることから、明治末期の正木尋常小学校開校前後の土木工事に関連づけたい。

P66の出土遺物(37～44・46)は陶器・瓦などである。遺構の時期はSK06と時期差は少ない。

**SK07** B・C列1に位置する土坑。検出長は南北約1.1m、東西約1.1m、深さ0.2mで調査区外へと続く。



北側は近代の土管を含む SD03 に切られる。西側は地形上の段差となり、それ以西は続かない。

出土遺物は須恵器甕(47)、陶器瓶(48)で、近世以降と考えられる。

**SK08** B～C列1に位置する土坑。検出長は南北約0.9m、東西約1.1m、深さ0.2mで調査区外へと続く。北側は近代の土管を含む SD03 に切られる。

出土遺物は土師器(49)、須恵器(50・51)、灰釉陶器(52)で、52はK-90号窯式期(9世紀後半)以降と考えられる。

**SK09** B～C列2に位置する土坑。検出長は南北約0.3m、東西約0.7mで調査区外へと続く。東側は地形上の段差となっており、それ以东は続かない。

出土遺物は陶磁器(53～59)で、銅版染付の磁器(53)や両手鍋(58)・蓋(57)が含まれることから近世後半以降と考えられる。

**SK11** B～C列2に位置する土坑。検出長は南北約0.9m、東西約0.6m、深さ0.3mで調査区外へと続く。

出土遺物は須恵器(60)と常滑焼土管(61)である。木型の土管であることから、近代以降と考えられる。

**SK12** B～C列1に位置する土坑。検出長は南北約0.4m、東西約1.2m、深さ0.1mで調査区北へと続く。

出土遺物は陶製火鉢(62)で、近世と考えられる。

**SK14** C列2に位置する土坑。検出長は南北約1.8m、東西約1.1m、深さ0.2mで調査区東へと続く。

出土遺物は陶磁器(63～67)で、クロム釉青磁で緑色に発色させた磁器が含まれるため近代と考えられる。

**SK18** B列5～6に位置する土坑。検出長は南北約2.0m、東西約1.1m、深さ0.1～0.2mで調査区西へと続く。遺構の南北は攪乱により切られる。整地により削平を受けており、断定出来ないものの堅穴建物の一部の可能性がある。

出土遺物は須恵器(68)で器種は焼台と考えられる。時期は不明であるが、類似の焼台がI-15号窯(日進市)で出土しておりC-2号窯式期(8世紀前半)と考えるべきか。

**SK21** C列5に位置する土坑。検出長は南北約1.9m、東西約0.4mで調査区東へと続く。遺構の大半は基礎杭の攪乱により未掘とした。平面形状は方形か。SK06同様、煉瓦によって構造物が組まれているが未掘のため構造物の全体像・遺構の深さともに不明。

出土遺物は近世以降の捏鉢(69)が出土しているが、遺構の時期はSK06に準ずると考えたい。

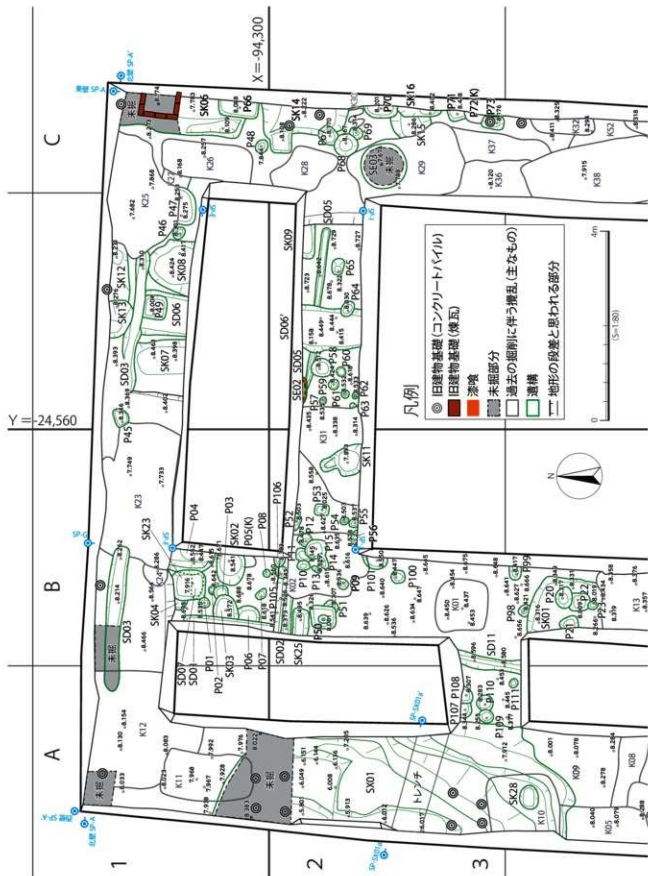
**SK23・SD07** SK23はB列1に位置する土坑。検出長は南北約0.7m、東西約0.6m、深さ0.7mで、北側は地形上の段差となっており、それ以北は続かない。当初東西方向の溝SD07と別の遺構として掘削したが、同一遺構の可能性がある。東側はP04、西側はSK04に切られる。

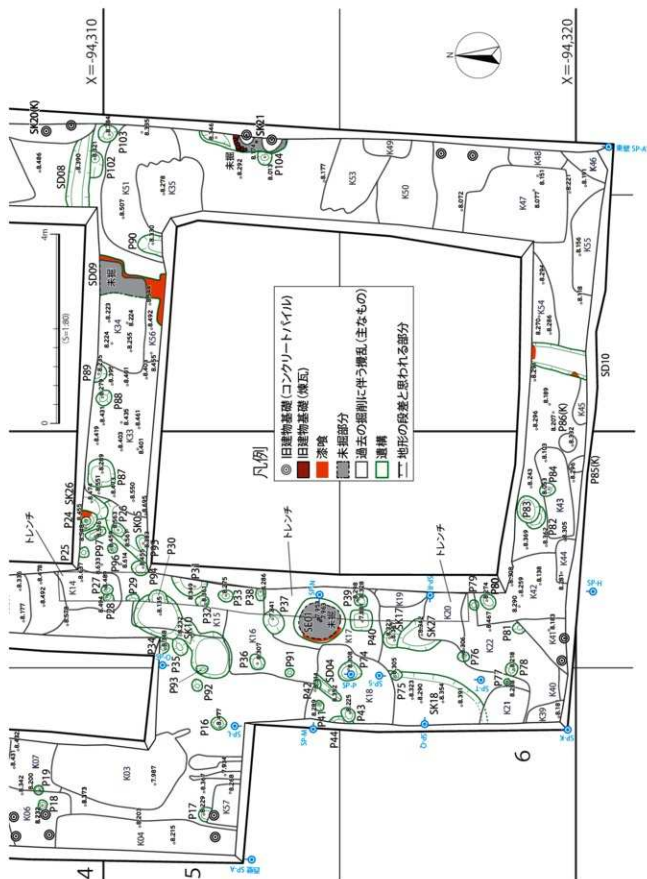
出土遺物はSD07として須恵器の瓶(73)、高坏(74)を、SK23として土師器高坏(70)、須恵器坏身(71・72)を取り上げている。須恵器はH-61号窯式期(6世紀中頃)とI-25号窯式期(8世紀中頃)と考えられる。

**SD02** B列2に位置する東西方向の溝。検出長は南北約0.2m、東西約0.3m、深さ0.2mで調査区外へと続く。

出土遺物は磁器皿(75)で、肥前磁器編年Ⅳ期(18世紀後半)と考えられる。

**SD08** C列4に位置する東西方向の溝。検出長は南北約0.5m、東西約1.5m、深さ0.1mで調査区外





第9図 遺構図(南半)

へと続く。

出土遺物は陶器の染付皿(76)で、近世と考えられる。

P09 B列2に位置する土坑。検出径0.2m、深さ0.1mである。

出土遺物は犬山焼の皿(77)で、犬山焼は18世紀半ばに創業されたことから近世後半以降と考えられる。

P15 B列2に位置する方形土坑。検出径0.3m、深さ0.5mである。

出土遺物は陶器の徳利(78)である。通い徳利(貧乏徳利)に類されるもので近代と考えられる。

P24 B列4に位置する土坑。検出長は南北約0.5m、東西約0.4m、深さ0.1mで調査区東へと続く。土坑は2段になっており、下段の東側に漆喰が残る。

出土遺物は金属製の磁器鍋(79)で、近代と考えられる。

P25 B列4に位置する土坑。検出径0.2m、深さ0.1mで調査区外へと続く。

出土遺物は磁器の漏斗(80)か、近代と考えられる。

P26 B列4に位置する土坑。検出径0.3m、深さ0.03mでSK05の底面で確認した。

出土遺物は須恵器の甕(81・82)であるが、時期は不明である。

P40 B列5・6間に位置する方形の土坑。検出長は一辺0.5m、深さ0.5mである。

出土遺物は須恵器の高坏(83)であるが、時期は不明である。似たような規模の方形の土坑は、調査区全体で確認されており、他にP49・P50、一回り小規模なものでP15・P53等が挙げられる。

P48 C列1・2間に位置する土坑。検出径0.3m、深さ0.6mである。

出土遺物は土師器の壺(84)で、時期は古墳時代以降と考えられる。

P56 B列2に位置する土坑。検出長は南北約0.1m、東西約0.3m、深さ0.5mで調査区外へと続く。

出土遺物は須恵器の甕(85)であるが、時期は不明である。

P70 C列2に位置する土坑。検出長は南北約0.7m、東西約0.3m、深さ0.3mで調査区外へと続く。

出土遺物は磁器(86～89)・瓦(90)で、銅版染付の磁器が含まれることから近世後半以降と考えられる。

P83 B～C列6に位置する土坑。検出長は南北約0.5m、東西約0.6m、深さ0.3mで調査区外へと続く。

出土遺物は土師器の高坏(91)で、時期は古墳時代以降と考えられる。

P99 B列3に位置する土坑。検出長は南北約0.3m、東西約0.3m、深さ0.3mで調査区外へと続く。

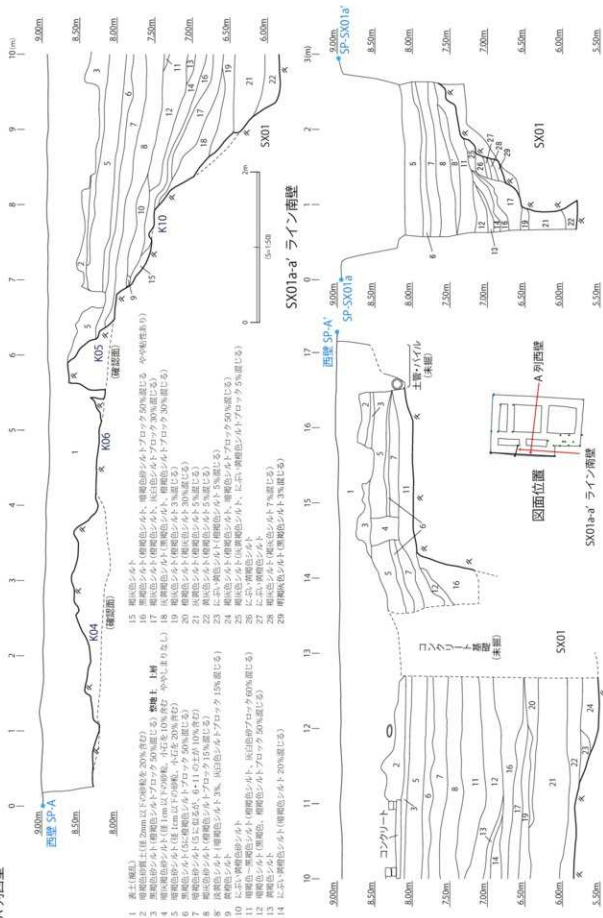
出土遺物は須恵器の甕(92)で、時期は古墳時代以降と考えられる。

SE01・SE02・SE03・SD09・SD10 いずれも遺物は出土していないものの、近世末～近代の時期と考えられる遺構である。井戸は3基ともに完掘はしていない。SE01・SE02・SD09・SD10は漆喰が遺構の側面や底面に施されている。SD09・SD10はほぼ同一直線状に位置し、N-14～15°-Eを測り、同一遺構の可能性がある。SD09の北東にあたるSD08とともに屋敷の区画溝の可能性がある。このあたりは本町筋の西に位置し、18世紀以降町屋が増えていった場所であったことを示唆するものか。

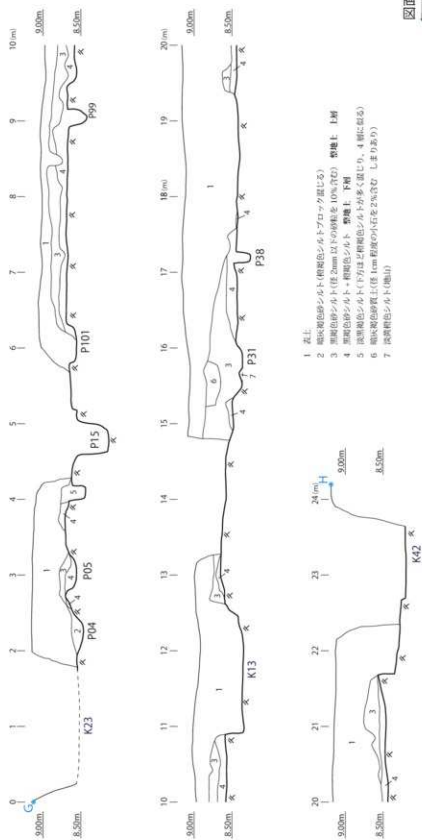
また5Aグリッド周辺を検出中に勾玉(136)が1点出土した。遺構に伴わないものであるが、出土層位は整地土の一部であると考えられる。周辺の土も念のために土嚢袋に詰めて持ち帰り水洗作業をおこなった。結果として、須恵器・土師器の細片が含まれていたが、時期比定も含め、詳細は分からなかった。



第 10 图 A 列西壁土層断面图



B列東壁



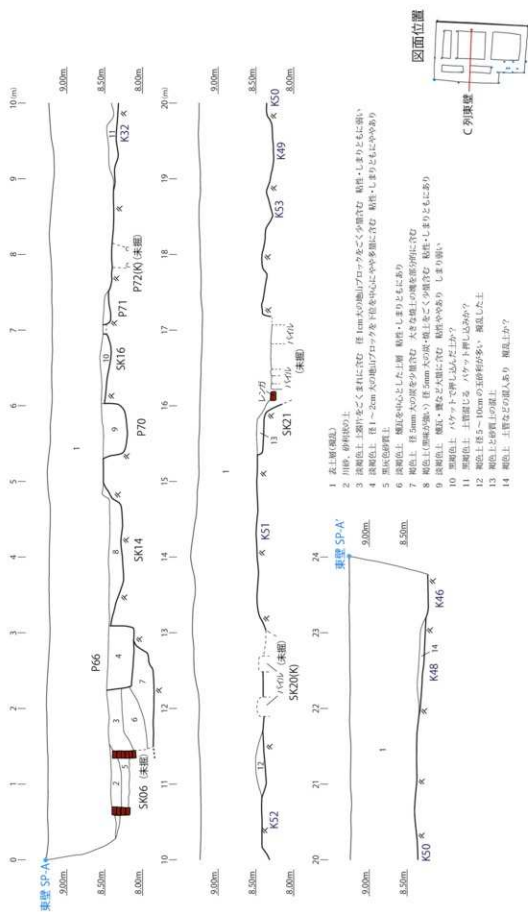
- 1 表土  
2 暗茶褐色シルト(傾斜シルト・ブロック層による)  
3 黒褐色シルト(厚 2mm 以下の砂粒を 10% 含む) 磐地土 上層  
4 黒褐色シルト・暗褐色シルト 磐地土 下層  
5 淡黄褐色シルト(下方ほど暗褐色シルトが多くなり、4 層に似る)  
6 暗茶褐色砂質土(厚 1cm 程度の砂粒を 2% 含む、しまりあり)  
7 淡黄褐色シルト(地山)

図面位置



第 11 図 B列東壁土層断面図

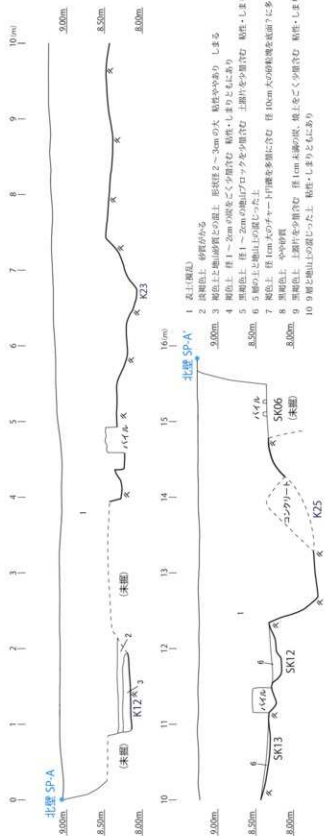
C列東壁



- 1 表土層(覆土)
- 2 川砂、砂利状の上
- 3 表層土上 土割片をごくまれに含む。厚 1cm 程度の地山ブロックをごく少量含む。粘性・しまりともに強い
- 4 表層土上 厚 1～2cm 程度の地山ブロックを下位を中心にやや多量に含む。粘性・しまりともにやや弱い
- 5 表に色砂層土
- 6 表層土上 横瓦を中心とした土層。粘性・しまりともにあり
- 7 表層土上 厚 5mm 程度の土割片を少量含む。大きな土割片の塊や面状の塊を含む
- 8 表層土上(面状の塊) 厚 5mm 程度の土割片をごく少量含む。粘性・しまりともに強い
- 9 表層土上 横瓦・黄など大塊を含む。粘性ややあり。しまり強い
- 10 表層土上 ハケットで押し込んだ土か?
- 11 表層土上 土割片で押し込んだ土か?
- 12 表層土 厚 5～10cm の土割片が多い。横瓦も土
- 13 表層土と砂利層上の表土
- 14 表層土 土割などの混入あり。横瓦も土か?

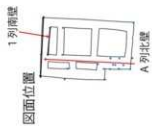
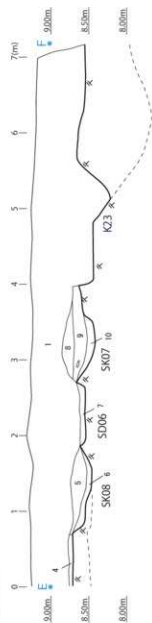
第 12 図 C 列東壁土層断面図

1 列北壁



第13図 1 列北壁南壁土層断面図

1 列南壁





## 第4章 出土遺物

第3章の各遺構の記述でも述べたとおり、主体として確認された遺物は、近世後半～近代であるが、正木町遺跡の主な時期である古墳時代～古代の土師器・須恵器も多く確認されたほか、弥生土器についても数点確認されている。遺構外出土であるが、石製の勾玉(136)が1点出土したことも成果の一つである。

また、令和2(2020)年の試掘調査時に出土した遺物のうち1点が初期須恵器(149)とみられる。合わせて報告をおこなう。

### SX01

1は土師器の甕口縁部で、素緑でハの字状に外反する。外面にナナメ方向のハケ調整を施す。2も同様に土師器の甕口縁部でハの字状に外反する。3～12は、須恵器でいずれも小片である。3は高環脚部、4は壺頸部、5は壺口縁部、6は甕口縁部で9条1単位の波状文を施す。7は高環の脚部で2方向に長条形の透かし孔が入り、本来は4方向であったと考えられる。透かし孔を入れる際に工具痕がついたものであろうか、透かし上端側面に刻みが見られる。8は坏蓋である。9は高台付坏身である。10～12は甕類の体部で、平行タタキ痕が残る。13は陶器の鉢で外面に淡黄色の釉と緑色の斑紋が施された黄瀬戸鉢である。

### SK01

14は土師器の高環で松河戸～宇田式頃であろうか。15は陶器の植木鉢の口縁部で白色の釉が施される。

### SK06・P66

16は須恵器の甕肩部で2方向からの平行タタキ痕が残る。17～23、37～41は陶器、24～31は磁器、32・43は瓦、33・42は土師器、34・35は瓦質土器、36は石製品、44～46は常滑赤物である。17～46は一般的な日常雑器にあたり、器種で見ると17・18・31は皿、19～21・37は蓋、22は汁次、23は茶入、24は坏、25～28は碗鉢、29は鉢、30は鶴首徳利、33は焙烙、34・35は焔炉、36は砥石、38は仏飯器、39・40は土瓶、41は水滴、42は火消し壺、44は甕、45・46はカマドである。32は軒平瓦または軒棧瓦、43は軒丸瓦である。

33の焙烙は金子健一編年のⅡ期末の1800年前後か。34・35の焔炉は同一個体とみられ、内外面ともに灰色を呈する。被熱痕や炭化物などの付着はみられない。36の砥石は石材が変成岩のホルンフェルスで黒褐色を呈する。平坦面のうち片面が平滑でよく使用されており、研ぎ傷も数条観察できる。44の赤物甕も1800年前後。45・46の赤物カマドも同様か。45・46の内面は煤が全面に付着している。

### SK07

47は須恵器甕、2本1組の沈線のちに6条1単位の波状文を少なくとも3段施す。48は陶器の小瓶底部で鉄分の強い胎土である。

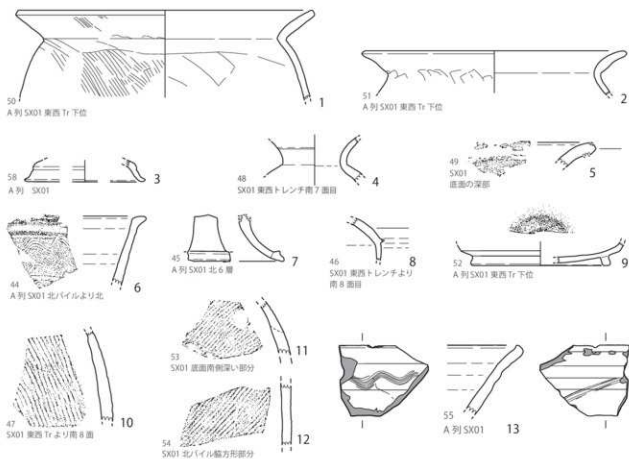
### SK08

49は土師器の台坏脚部。50は須恵器の把手で鉢や甕などの水平につくタイプのものと思われる。51・52は灰釉陶器で51は小瓶、52は碗で底面中央部に線刻が確認できる。「万」か「五」であろうか。

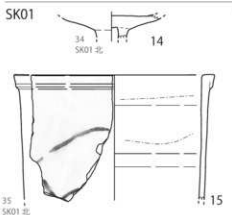
### SK09

53は銅版染付の磁器碗である。54は陶器の把手で小型の鍋のものか。55は灯明受皿で、灰釉が内外

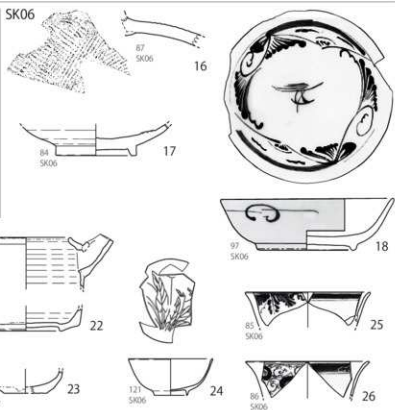
SX01



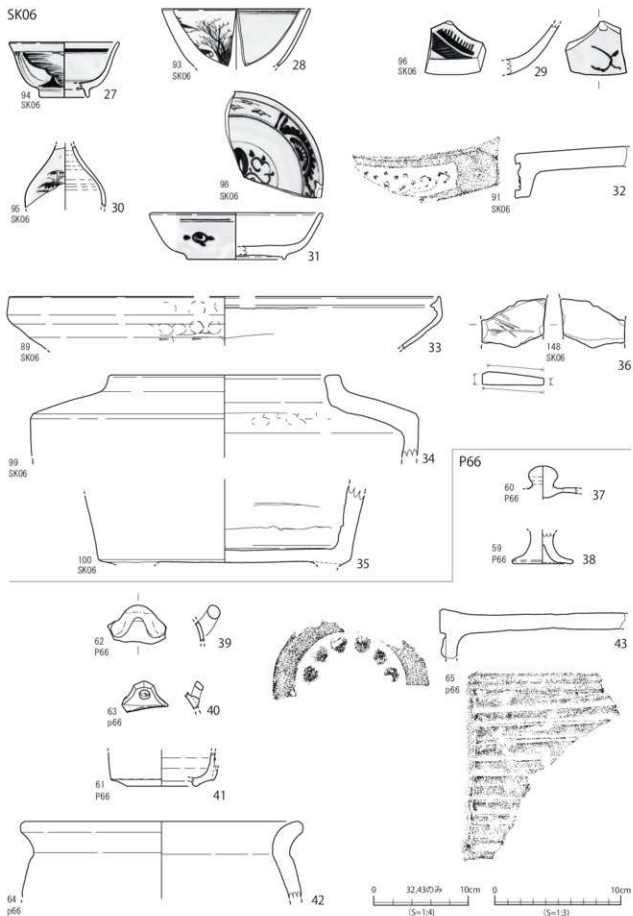
SK01



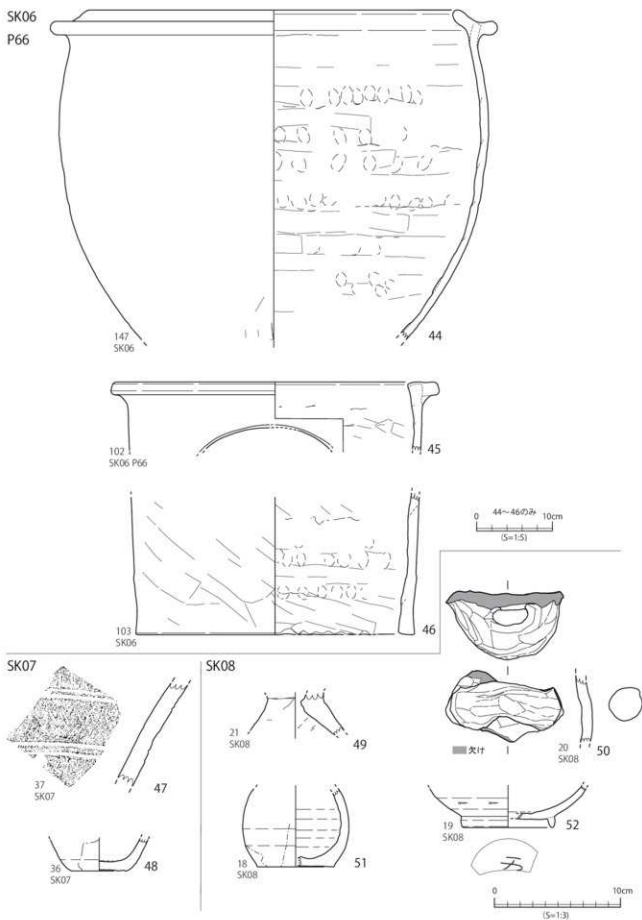
SK06



第15図 出土遺物 (SX01・SK01・SK06)



第16図 出土遺物 (SK06・P66)



第 17 図 出土遺物 (SK06・P66・SK07・SK08)

面に施される。56は播鉢で、近代以降。57、58は軟質陶器で土鍋の蓋と身である。身の底面に煤が付着する。59は半胴甕で、内外面に鉄釉が施される。18世紀後半。

SK11

60は須恵器の高坏脚部。外面に10～11条1組の波状文が施される。1方向に長条形の透かし孔が入り、本来は3方向であったと考えられる。61は土管で鉄釉が施され、常滑産であろうか。ソケット部内面にモルタルと思われる固体などが残っており、水利用途の土管であるか。木型痕が確認できるため、明治初期以降。

SK12

62は火鉢の口縁部で、緑灰色・灰白色の釉が施されるが、二次的被熱を受け白濁している。

SK14

63は磁器の小皿で、わずかな文が染付されている。64はクロム釉青磁により外面を緑色に発色させた磁器茶碗である。赤色と濃い緑色の線描は彼岸花をモチーフとしているか。65は陶器の双耳壺で灰釉が施される。66は鉄絵で3方向に文字が描かれた徳利である。「ヨコ■」「十二？」と判読でき、残り1ヶ所は屋号などの○の一部分か。67は半胴甕で柿釉が施される。

SK18

68は須恵器の焼台か。白色～白灰色を呈し、軟質である。器壁には焼成前に穿孔された円形透かしが5ヶ所残っており、本来は6～7ヶ所あったと推定される。この用途や器種の推定については第6章の総括で改めて述べる。

SK21

69は捏鉢で、灰釉が施されるほか底部外面に煤が付着する。

SK23・SD07

70は土師器の高坏脚部で、磨耗が激しいため、調整がほとんど観察できない。71～74は須恵器。71は坏身、72は高台付の坏身、73は瓶類の高台部、74は高坏である。脚部上方にカキ目が施されたのち、三方向に三角形の透かし孔が大きく穿たれている。坏身部分の口径が大きく推定13.75cmを測る。

SD02

75は磁器の染付皿で、蛇の目軸刺ぎ高台である。内面見込みに雲龍が陽刻されている。

SD08

76は陶器の皿である。全体的に暗めのクリーム色を呈し、内外面ともに貫入が激しい。

P09

77は犬山焼の陶器皿である。灰色の器面に緑と朱の紅葉柄である。

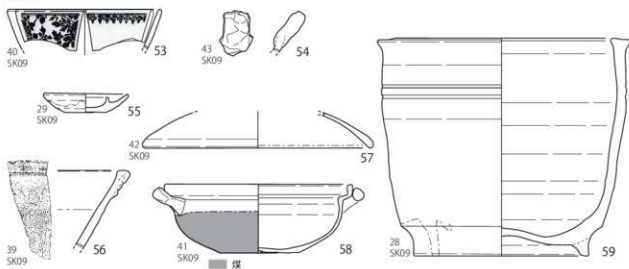
P15

78は徳利である。鉄絵で少なくとも三文字書かれているが判読できない。

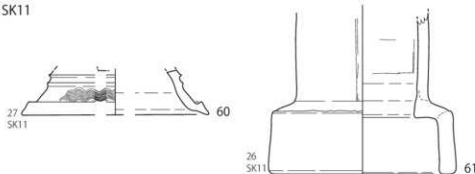
P24

79は珫瑯鍋である。口縁部は外側に折り返されている。把手は失われている。内面が白色、外面が黒～濃紺色の薄い金属製の鍋をガラス質の珫瑯でコーティングされているが、ガラス質が失われたためか、錆が進行しており、腐食が激しい。錆が付着していない部分のガラス質含めた器厚は0.9mmである。

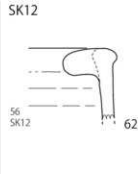
SK09



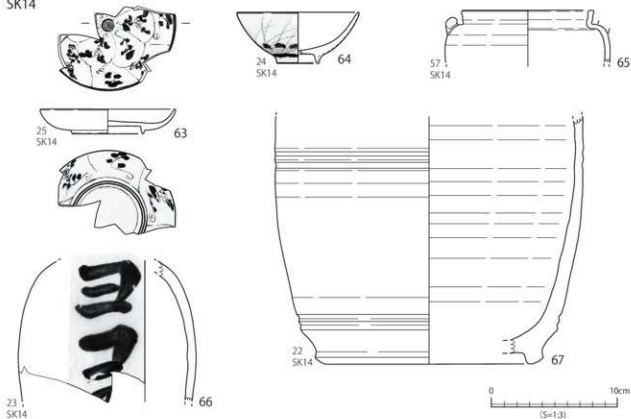
SK11



SK12



SK14

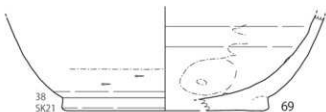


第18図 出土遺物 (SK09・SK11・SK12・SK14)

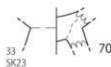
SK18



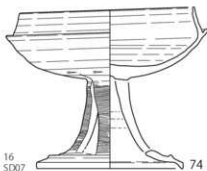
SK21



SK23



SD07



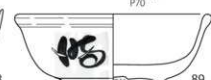
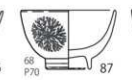
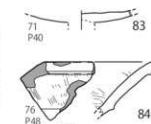
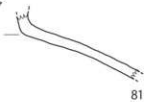
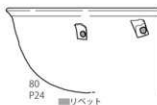
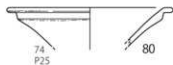
SD02



SD08



ビット



第19図 出土遺物 (SK18・SK21・SK23・SD07・SD02・SD08・ビット)



## P25

80は磁器で白色の内外面に透明釉が施される。外面の口縁端部は無釉となっている。形状から漏斗と考えられる。

## P26

81・82は須恵器の甕で平行タタキ痕が残る。82の外面は黒色化し、内面は自然釉や降灰が付着している。

## P40

83は須恵器の高坏の坏部で脚部との接合部で剥離している。

## P48

84は土師器の有段口縁壺の口縁部で端部外面は平滑気味だがやや凹み下垂する。外面は縦とナナメ方向のハケメで調整される。

## P56

85は須恵器の甕頸部で波状文と沈線が残る。

## P70

86～88は磁器の碗類。86・88・89は染付。86の内外面に龍と雲が描かれている。87は銅版染付の小碗で外面に2ヶ所海松文で海藻が表現されている。海松文は淡い紺色と茶色のものが残るが、他に緑色のものがあったか。88は内面底部の見込みに「寿」、外面は牡丹のような花を線描で描いたものか。89は蛇の目高台で内外面に文字が描かれる。90は軒棧瓦の丸瓦部分。

## P83

91は土師器の高坏の坏部で、全体的に磨耗している。

## P99

92は須恵器の甕体部で平行タタキ痕が残る。

## 整地土

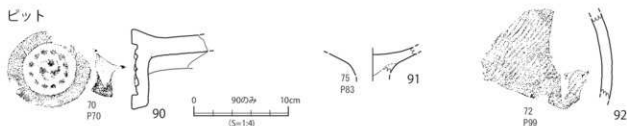
これらは遺物取上の際に、層位を遺物包含層として一括で取上げたものである。

93・94は土師器の有段口縁壺の口縁部。93の外面には波状文が残る。胎土は他の土師器と比較してやや黄色味が強く異質に感じる。他地域からの搬入品の可能性も考えたい。95は土師器の高坏か器台の脚部で、沈線で区画された中を櫛描文2列が巡る。96は土師器の坏。97・98は土師器の高坏坏部、99～101は脚部。脚部が外反するタイプであり、松河戸～宇田式期と考えられる。

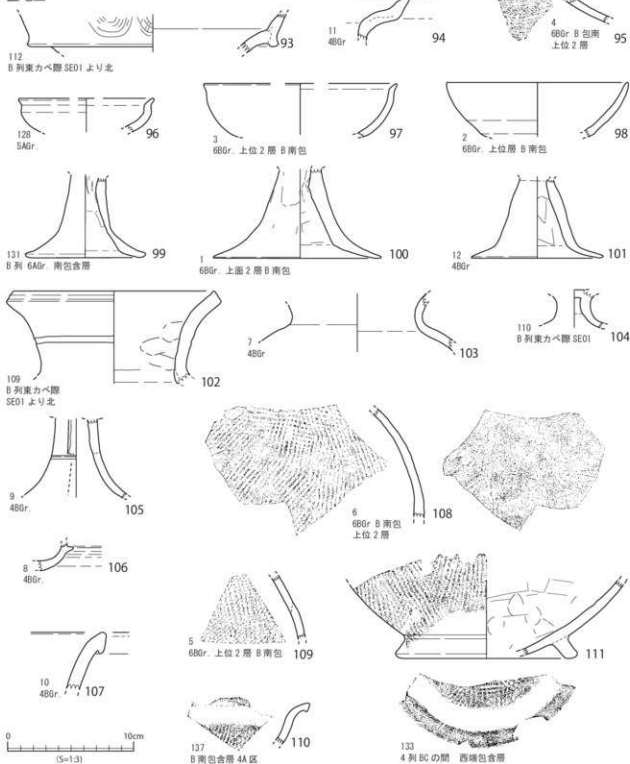
102～113・115は須恵器。102・103は壺。104・105は高坏。105は長条形の透かし孔を2段もつ。106は坏身、107～109は甕類。108は2方向からの平行タタキ痕、109は縄席文で内外面に明るい朱色の粉状の物質が付着する。110・111は鉢。110は平行タタキ痕、111は体部～底部全面に複数方向からのタタキを施したのちに高台を張り付けている。胎土は灰白色に近いことから、焼成はやや甘く、外面の磨耗も激しい。体部内面は薄くオリーブ灰色を呈し、水平方向に刷毛状の筋が観察できる。鉄釉を塗布した痕跡であろうか。同様の例として、尾張元興寺跡第16次SK038出土の甕の口縁部周辺の内外面で報告を挙げたことがある。112・113・115は瓶類。113は横瓶体部で、内面に粘土紐の輪痕が残る。外面に自然釉(降灰)がかかる。

第4章 出土遺物

ビット

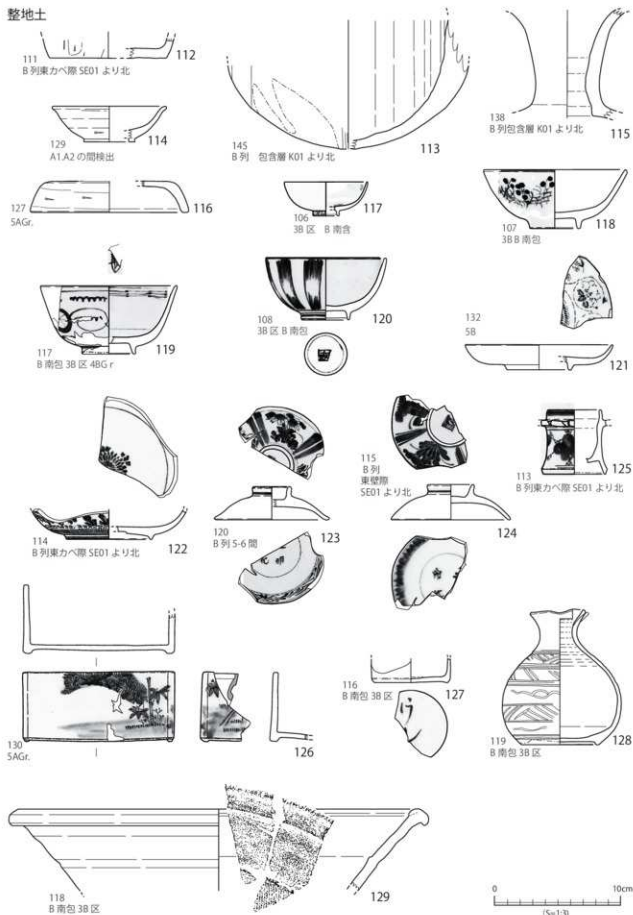


整地土



第20図 出土遺物 (ビット・整地土)

整地土



第 21 図 出土遺物 (整地土)

114は小碗で灰釉が内面底部～外面口縁端部までかかる。高台は残りが悪いが三日月高台ではなく、K-14窯式の角高台であろうか。116は無釉陶器の蓋と思われる。胎土は粗く尾張型山茶碗に近い。経筒外容器か。109同様に内外面に明るい朱色の粉状の物質が付着する。

117～126は磁器である。117は坏、118～120は碗、121・122は皿、123・124は蓋、125は盃台、126は箱型の段重であろうか。121は内面に桐文などの植物文意匠が型紙摺絵で施されている。125の盃台は宴席で盃を置くための台で外側に水平に開くであろう台部分は打ち欠かされている。126は外面に松と竹が描かれている。

127～131・134は陶器。127・128は徳利。127は底面に墨書が残るが「ウン」か。128は灰釉を全面施釉したのち、ヘラで掻き落として白泥の櫛描文を露胎させている。129・130・131は描鉢で瀬戸・美濃登窯の第3段階第11小期19世紀後半か。134は甕底部。破断面に煤が付着していることから二次的に被熱したか。

132は土師質で焔炉の部品(多孔皿土製品)である。

133は常滑赤物でカマド口縁部。45と比較して体部が外反し、口縁部も角張る全体に煤が付着している。

135はガラス製小瓶で、気泡が多く含まれ、作りが稚拙で戦前のものか。

136は玉蘭製勾玉である。白色半透明の完形品である。分析結果は第5章で、市内の類例は第6章にて述べる。

#### 攪乱

137は灰釉陶器の皿で口縁部は外側に屈曲し、三日月高台がつけられる。施釉は内面に薄く漬け掛けである。O-53～H-72号窯式期か。体部外面中位に1～2mm程度のV字形の印花状の凹みがあるが不明瞭であるため詳細は不明である。

138は陶器の描鉢口縁部。129・130と比較して玉縁状の口縁部は退化しており、やや時代は下るか。

139は磁器碗で内面に三尾の龍が描かれる。

#### 表土・表採

140は須恵器の台付鉢で111に似る。焼成が甘く胎土は赤褐色を呈する。外面底部にはタタキ痕がわずかに残るもののはっきりしない。111と比較して高台は角張り、施釉されていない。

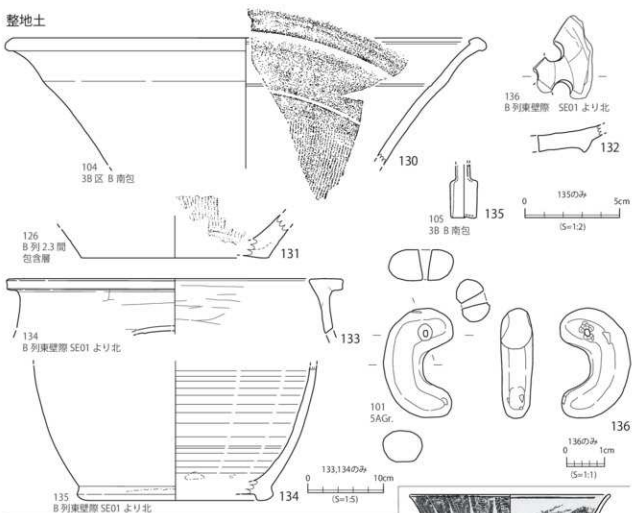
141は磁器小碗で銅版染付で内面に宝珠と雲、外面体部に雲と二尾の龍、底面に「玉松園北山製」と記される。

142～147は陶器で作製された国民食器で、代用品同様に国策で生まれたものである。142～145は、国民食器の蓋でクロム釉による二本線が巡る。146～148は玉縁碗で碗の内面にコバルト釉の星章が印刷されていることから、陸軍食器である。いずれも把手部分や高台部分が確認されなかったため、統制番号も確認できなかった。

#### 試掘調査

149は初期須恵器の坏もしくは蓋と考えられ、今回の調査区外の北東部分に位置するトレンチ1の溝と見られる黒褐色土で確認された遺物である。共存遺物は土師器の細片であり、遺構の時代は不明である。外面は自然釉が濃い灰色を呈し、丁寧なヘラケズリで仕上げられ、体部中位に一条の稜線が巡る。

## 整地土



## 攪乱



## 表土・表採



第22図 出土遺物（整地土・攪乱・表土・表採／試掘調査）

第3表 遺物観察表

| 図録<br>番号 | 東列<br>番号 | 調査区・<br>グリッド | 遺構名・<br>層位等 | 区分  | 器種  | 部位  | 寸法         |               |            | 調査号                                                                              | 特記事項                                                 | 状況       | 胎土                              | 色別                                                                     | 残存率                     |
|----------|----------|--------------|-------------|-----|-----|-----|------------|---------------|------------|----------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------|----------|---------------------------------|------------------------------------------------------------------------|-------------------------|
|          |          |              |             |     |     |     | 口径<br>(cm) | 直径<br>(cm)    | 高さ<br>(cm) |                                                                                  |                                                      |          |                                 |                                                                        |                         |
| 1        | 50       | A 列          | SX01        | 土師器 | 甕   | 口縁部 | (23.25)    | —             | (6.9)      | 外面：横方向のナデ、<br>ナメ方方向のハケメ<br>内面：横・ナメ方<br>方向のイタナデ<br>口縁部：ヨコナデ、<br>一部にハケメ跡わず<br>かに残る |                                                      | 良好       | やや粗<br>0.5～<br>1.5mm の礫<br>多く含む | 内ぶい・黄褐色<br>10YR7/3                                                     | 図の<br>1/4               |
| 2        | 51       | A 列          | SX01        | 土師器 | 甕   | 口縁部 | (20.55)    | —             | (3.3)      | 外面：工具による調<br>整痕                                                                  | 激しく磨耗                                                | 良好       | やや粗<br>1.0～<br>2.0mm の礫<br>多く含む | 浅黄褐色<br>10YR8/3 褐色<br>2.5YR7/6                                         | 図の<br>1/6               |
| 3        | 58       | A 列          | SX01        | 須恵器 | 高坏  | 脚部  | —          | 脚部径<br>(9.05) | (1.7)      | 内外面：回転ナデ                                                                         | ハソウの口縁部の可能性<br>焼成がやや目く褐色<br>時期不明                     | やや<br>良好 | 密                               | 内外面：灰黄<br>色 2.5Y6/2<br>断面：褐色<br>7.5YR7/6                               | 図の<br>1/12<br>以下        |
| 4        | 48       |              | SX01        | 須恵器 | 甕   | 頸部  | —          | —             | (2.65)     | 外面：頸部回転ナデ、<br>沈殿1条<br>内面：頸部回転ナデ、<br>底部ナデ                                         | 内外面：自然釉                                              | 良好       | 密                               | 外面断面：灰<br>色 N5/0<br>内面：灰白色<br>7.5Y7/1                                  | 図の<br>1/6               |
| 5        | 49       |              | SX01        | 須恵器 | 甕   | 口縁部 | —          | —             | (2.0)      | 外面：回転ナデ、波<br>状文(9条1単位)<br>内面：回転ナデ<br>口縁部：ナデ                                      | 自然釉付着                                                | 良好       | 密                               | 青灰色 S85/1                                                              | 図の<br>1/12<br>以下        |
| 6        | 44       | A 列          | SX01        | 須恵器 | 甕   | 口縁部 | —          | —             | (5.55)     | 外面：回転ナデ、波<br>状文、沈殿1条<br>内面：回転ナデ<br>口縁部：ナデ                                        |                                                      | 良好       | 密<br>0.5mm 以下<br>の礫わずかに<br>含む   | 外面：灰白色<br>N7/0<br>内面：灰白色<br>2.5Y7/1                                    | 図の<br>1/12              |
| 7        | 45       | A 列          | SX01        | 須恵器 | 高坏  | 脚部  | —          | —             | (3.7)      | 内外面：回転ナデ                                                                         | 外面：自然釉わずかに付着<br>透かし上端に刷み線(2ヶ<br>所長)<br>H-61 号窯式開始前後か | 良好       | 密                               | 灰白色<br>10YR7/1 黄灰<br>色 2.5Y6/1                                         | 図の<br>1/12<br>以下        |
| 8        | 46       |              | SX01        | 須恵器 | 环蓋  | 体部  | —          | —             | (3.4)      | 外面：回転ナデ、回<br>転ヘラケズリ<br>内面：回転ナデ                                                   |                                                      | 良好       | 密                               | 灰色 7.5Y5/1<br>にぶい・黄褐色<br>10YR7/3                                       | 図の<br>1/12<br>以下        |
| 9        | 52       | A 列          | SX01        | 須恵器 | 坏   | 底部  | —          | 高台径<br>(10.7) | (1.65)     | 外面：ナデ、回転ナ<br>デ、外面・底部回転<br>ヘラケズリ後ナデ、<br>付高台<br>内面：回転ナデ                            | 内面：刷線<br>1～25 号窯式期か                                  | 良好       | 密                               | 内外面：黄灰<br>色 2.5Y5/1<br>断面：灰白色<br>2.5Y7/1                               | 図の<br>1/4               |
| 10       | 47       |              | SX01        | 須恵器 | 甕   | 体部  | —          | —             | —          | 外面：タタキ目<br>内面：イタナデ                                                               | 外面：平行タタキ                                             | 良好       | 密                               | 灰白色<br>7.5Y7/1                                                         | 図化部<br>のみ               |
| 11       | 53       |              | SX01        | 須恵器 | 甕類  | 体部  | —          | —             | —          | 外面：タタキ目<br>内面：イタナデ                                                               | 外面：平行タタキ                                             | 良好       | 密                               | 内外面：灰色<br>N6/0<br>断面：灰白色<br>7.5Y7/1                                    | 図化部<br>のみ               |
| 12       | 54       |              | SX01        | 須恵器 | 甕類  | 体部  | —          | —             | —          | 外面：タタキ目<br>内面：横方向のイ<br>タナデ                                                       | 外面：平行タタキ                                             | 軟質       | 密                               | 浅黄褐色<br>10YR8/4                                                        | 図化部<br>のみ               |
| 13       | 55       | A 列          | SX01        | 陶器  | 鉢   | 口縁部 | —          | —             | (5.55)     | 外面：繻羅文<br>内面：波状文                                                                 | 外面：灰釉<br>内面：灰釉、緑釉                                    | 良好       | 密                               | 胎土：灰白色<br>2.5Y8/2<br>釉：灰白<br>色 5Y8/2 灰<br>オリーブ色<br>7.5Y5/3             | 図の<br>1/12<br>以下        |
| 14       | 34       |              | SK01<br>北   | 土師器 | 高坏  | 接合部 | —          | —             | (1.55)     |                                                                                  |                                                      | 良好       | やや密                             | 外面：褐色<br>7.5YR6/6<br>内面：内ぶ<br>い・褐色 7.5YR7/4                            | 坏部<br>1/6<br>脚部<br>1/4  |
| 15       | 35       |              | SK01<br>北   | 陶器  | 横木鉢 | 口縁部 | (15.9)     | —             | (9.9)      | 外面：染付か長石釉か、灰<br>釉<br>内面：口縁部長石釉か、灰<br>釉                                           |                                                      | 良好       | 密                               | 胎土：浅黄褐<br>色 10YR8/3<br>釉：灰白<br>色 5Y8/1 灰白<br>色 5Y8/2                   | 図の<br>1/6               |
| 16       | 87       |              | SK06        | 須恵器 | 甕類  | 胴部  | —          | —             | (3.6)      | 外面：タタキ目<br>内面：イタナデ                                                               | 平行タタキを2方向変<br>えている<br>時期不明                           | 良好       | 密                               | 外面：黄灰色<br>2.5Y5/1<br>断面：灰白色<br>2.5Y7/1<br>内面：黄灰色<br>2.5Y6/1            | 図化部<br>のみ               |
| 17       | 84       |              | SK06        | 陶器  | 皿   | 底部  | —          | 高台径<br>5.6    | (2.25)     | 外面：回転ヘラケズ<br>リ<br>割りだし高台                                                         | 内面：灰釉<br>裏面黄緑4ヶ所                                     | 良好       | 密<br>1.0mm 以下<br>の礫含む           | 胎土：灰白色<br>2.5Y8/2<br>釉：黄灰色<br>5Y8/3                                    | 図の<br>1/1               |
| 18       | 97       |              | SK06        | 陶器  | 皿   |     | 13.6       | 高台径<br>7.4    | 4.1        |                                                                                  | 内外面：染付、透明釉<br>底の目高台のように一段<br>下がる                     | 良好       | 密                               | 胎土：灰白色<br>5Y8/1<br>釉：灰白<br>色 5Y8/2                                     | 口縁部<br>5/6<br>底部<br>1/1 |
| 19       | 92       |              | SK06        | 陶器  | 蓋   |     | (5.4)      | —             | (1.45)     | 口縁部：灰釉<br>内面：鉄釉<br>上面と次の被熱か<br>釉がたれている様か                                         |                                                      | 良好       | 密                               | 胎土：黄灰色<br>5YR5/1<br>釉：灰緑に<br>ぶい・黄色<br>2.5Y6/3、鉄釉<br>にぶい・黄褐色<br>10YR4/3 | 図の<br>5/12              |

| 調査<br>番号 | 発掘<br>区画 | 調査区・<br>グリッド | 遺構名・<br>層位等 | 区分  | 器種               | 部位  | 寸法                |               |            | 調査号 | 型式等                                                      | 特記事項                        | 地盤                    | 胎土                                        | 色調                                                | 保存率                           |
|----------|----------|--------------|-------------|-----|------------------|-----|-------------------|---------------|------------|-----|----------------------------------------------------------|-----------------------------|-----------------------|-------------------------------------------|---------------------------------------------------|-------------------------------|
|          |          |              |             |     |                  |     | 口径<br>(cm)        | 口径<br>(cm)    | 高さ<br>(cm) |     |                                                          |                             |                       |                                           |                                                   |                               |
| 20       | 83       |              | SK06        | 陶器  | 蓋                |     | 6.6<br>外径<br>7.55 | 4.55          | 1.3        |     | 外面：ナデ、回転ヘ<br>ラケズリ。回転糸き<br>り痕                             | 内外面口縁部：灰輪                   | 良好                    | 密                                         | 胎土：灰白色<br>2.5YR8/2<br>輪：灰白色<br>5YR8/2             | 口縁部<br>5/6<br>底部<br>1/3       |
| 21       | 82       |              | SK06        | 陶器  | 蓋                |     | 10.9              | 6.3           | 2.4        |     | 内外面：回転ナデ<br>底部外面：回転糸切<br>り                               | 内外面：灰輪。輪はぎ<br>重なり           | 良好                    | 密                                         | 内外面：に<br>ぶい・黄褐色<br>10YR5/3<br>断面：浅黄褐<br>色 10YR8/3 | 口縁部<br>5/6                    |
| 22       | 88       |              | SK06        | 陶器  | 汁次               |     | (6.95)            | 高台径<br>(5.6)  | —          |     | 外面・底部：ナデ、<br>ヘラケズリ                                       | 内外面：灰輪<br>付把手               | 良好                    | 密                                         | 胎土：灰白色<br>2.5YR8/2<br>輪：灰白色<br>5Y7/2              | 口縁部<br>1/3<br>底部<br>1/4       |
| 23       | 90       |              | SK06        | 陶器  | 茶入               | 底部  | —                 | (3.5)         | (1.7)      |     | 底部外面：回転ヘラ<br>ケズリ                                         | 内外面：鉄輪                      | 良好                    | 密                                         | 胎土：灰白色<br>2.5YR8/2<br>輪：暗赤褐色<br>5YR3/2            | 図の<br>1/6                     |
| 24       | 121      |              | SK06        | 磁器  | 杯                |     | (6.6)             | 高台径<br>(2.6)  | 2.9        |     | 内面：透明釉。土胎付<br>外面：透明釉                                     | 良好                          | 緻密                    | 胎土：白色<br>N9/0<br>輪：透明                     | 口縁部<br>1/4<br>底部<br>3/4                           |                               |
| 25       | 85       |              | SK06        | 磁器  | 端反碗              | 口縁部 | (9.9)             | —             | (2.7)      |     | 内外面：染付、透明釉                                               | 良好                          | 緻密                    | 胎土：白色<br>N9/0<br>輪：灰白色<br>N8/0            | 図の<br>1/6                                         |                               |
| 26       | 86       |              | SK06        | 磁器  | 端反碗              | 口縁部 | (9.7)             | —             | (2.8)      |     | 内外面：染付、透明釉                                               | 良好                          | 緻密                    | 胎土：白色<br>N9/0<br>輪：灰白色<br>N8/0            | 図の<br>1/12                                        |                               |
| 27       | 94       |              | SK06        | 磁器  | 端反碗              |     | (8.6)             | 高台径<br>(3.65) | (4.4)      |     | 内外面：染付、透明釉<br>端反碗比較的新しい<br>外面に目跡2ヶ所                      | 良好                          | 緻密                    | 胎土：白色<br>N9/0<br>輪：薄い水色                   | 口縁部<br>5/6<br>高台<br>1/4                           |                               |
| 28       | 93       |              | SK06        | 磁器  | 碗                |     | (11.6)            | —             | (4.6)      |     | 内外面：染付、透明釉                                               | 良好                          | 緻密                    | 胎土：白色<br>N9/0<br>輪：灰白色<br>N8/0            | 図の<br>1/6                                         |                               |
| 29       | 96       |              | SK06        | 磁器  | 鉢                | 体部  | —                 | —             | (3.95)     |     | 内外面：染付、透明釉                                               | 良好                          | 緻密                    | 胎土：灰白色<br>7.5YR8/1<br>輪：灰白色<br>5GY8/1     | 図化部<br>のみ                                         |                               |
| 30       | 95       |              | SK06        | 磁器  | 観音<br>徳利         |     | —                 | —             | (4.9)      |     | 内面：回転ナデ                                                  | 外面：染付、透明釉                   | 良好                    | 緻密                                        | 胎土：白色<br>N9/0<br>輪：薄い水色                           | 図の<br>1/6                     |
| 31       | 98       |              | SK06        | 磁器  | 皿                |     | (13.5)            | 高台径<br>(7.6)  | 3.7        |     | 内外面：染付、透明釉<br>吹き置き痕<br>蛇の目高台                             | 良好                          | 緻密                    | 胎土：白色<br>N9/0<br>輪：薄い水色                   | 図の<br>1/4                                         |                               |
| 32       | 91       |              | SK06        | 瓦   | 軒平瓦              |     |                   |               |            |     | 凸面：イタナデ、ナ<br>デ<br>凹面：ナデ                                  | 良好                          | 密<br>1.0mm 以下<br>の確含む | 内外面：灰色<br>N4/0<br>断面：灰白色<br>N8/0          |                                                   |                               |
| 33       | 89       |              | SK06        | 土師器 | 焙烙               |     | (34.0)            | —             | (3.7)      |     | 外面：ユビオサエ、<br>横にヘラケズリ。口<br>縁部ユビオサエ<br>内面：イタナデ、口<br>縁部ヨコナデ | 外面：黄<br>1800 年前後か           | 良好                    | 密<br>1.0mm 以下<br>の確含む                     | にぶい・褐色<br>5YR6/4                                  | 図の<br>1/12                    |
| 34       | 99       |              | SK06        | 瓦葺  | 型砂 <sup>9)</sup> | 口縁部 | (1805)            | —             | (6.4)      |     | 口縁部：ヨコナデ<br>外面：イタナデか<br>内面：横方向のイタ<br>ナデ、ナデオサエ、<br>ナデ、布目痕 | 胎土に多く雲母<br>35 と同一固体か        | 良好                    | やや粗<br>1.0mm 以下<br>の確含む<br>砂粒含む           | 内外面：灰色<br>N4/0<br>断面：浅黄褐色<br>10YR8/3              | 図の<br>1/12<br>以下              |
| 35       | 100      |              | SK06        | 瓦葺  | 型砂 <sup>9)</sup> | 底部  | —                 | (19.9)        | (5.7)      |     | 内面：横方向のイタ<br>ナデ                                          | 内面：布目痕<br>付高台<br>34 と同一固体か  | 良好                    | やや粗<br>2.0mm 以下<br>の確含む                   | 内外面：灰色<br>N4/0<br>断面：灰白色<br>2.5YR8/2              | 底部<br>1/2<br>体部<br>1/12<br>以下 |
| 36       | 148      |              | SK06        | 石製品 | 砥石               |     |                   |               |            |     | ホルンフェルス(変成岩の<br>一種)<br>全面に使用痕。重量 21.6g                   |                             |                       |                                           |                                                   |                               |
| 37       | 60       |              | P66         | 陶器  | 蓋                | つまみ | —                 | —             | (2.5)      |     | 内外面：灰輪                                                   | 良好                          | 密                     | 胎土：灰白色<br>10YR8/2<br>輪：灰白色<br>10YR7/2     | 図化部<br>のみ                                         |                               |
| 38       | 59       |              | P66         | 陶器  | 仏飯器              | 脚部  | —                 | 脚部径<br>4.4    | (2.35)     |     | 内面：ナデ。工具に<br>よる横方向のナデ                                    | 外面：灰輪<br>脚部断面に1ヶ所縁輪が<br>設ける | 良好                    | 密                                         | 胎土：浅黄褐色<br>2.5YR8/2<br>輪：灰白色<br>5YR8/2            | 脚部<br>1/3<br>脚底部<br>2/3       |
| 39       | 62       |              | P66         | 陶器  | 土瓶               | 把手  | —                 | —             | —          |     | 染付<br>透明釉                                                | 良好                          | 密                     | 胎土：灰白色<br>2.5YR8/2<br>輪：明オリ<br>ブ灰色 5GY7/1 | 図化部<br>のみ                                         |                               |
| 40       | 63       |              | P66         | 陶器  | 土瓶               | 把手  | —                 | —             | —          |     | 灰輪<br>穿孔                                                 | 良好                          | 密                     | 胎土：灰白色<br>2.5YR8/2<br>輪：灰白色<br>7.5Y7/2    | 図化部<br>のみ                                         |                               |

第4章 出土遺物

| 発掘<br>番号 | 東洋<br>番号 | 調査区・<br>グリッド | 遺構名・<br>層位等 | 区分       | 器種       | 部位        | 寸法         |              |            | 調査等                                                         | 特記事項                          | 状況       | 胎土                                    | 色別                                                                   | 残存率                      |
|----------|----------|--------------|-------------|----------|----------|-----------|------------|--------------|------------|-------------------------------------------------------------|-------------------------------|----------|---------------------------------------|----------------------------------------------------------------------|--------------------------|
|          |          |              |             |          |          |           | 口径<br>(cm) | 直径<br>(cm)   | 高さ<br>(cm) |                                                             |                               |          |                                       |                                                                      |                          |
| 41       | 61       |              | P66         | 陶器       | 水筒       | 底部        | —          | (5.55)       | (2.7)      | 外面部：ナデ                                                      | 内外面：灰軸<br>外面：肥土               | 良好       | 密                                     | 胎土：淡黄色<br>2.5Y8/3<br>軸：灰白色<br>5Y7/2                                  | 民の<br>1/6                |
| 42       | 64       |              | P66         | 土師器      | 火消し<br>壺 | 口縁部       | (21.6)     | —            | (6.0)      | 内面：ナデ                                                       | 激しい磨耗                         | 良好       | やや粗<br>1.0mm 以下の<br>確含む               | 褐色 5YR7/6                                                            | 民の<br>1/12               |
| 43       | 65       |              | P66         | 瓦        | 軒丸瓦      |           |            |              |            | 凸面：ヘラケズリ<br>凹面：型押し、ナデ、<br>布目                                | 森文数6個残存<br>文様巴文               | 良好       | やや粗<br>1.0～<br>4.0mm 程の<br>確含む        | 凹凸面：灰色<br>N5/0<br>断面：灰白色<br>N8/0                                     |                          |
| 44       | 147      |              | SK06        | 常滑<br>赤物 | 甕        |           | (48.4)     | —            | (43.65)    | 口縁部：ヨコナデ<br>内面：横方向のイタ<br>ナデ、ナデオサエ                           | 内面：カルシウムの沈着                   | 良好       | やや密<br>1.0～<br>2.0mm の確<br>含む<br>砂粒含む | 浅黄褐色<br>7.5YR8/4                                                     | 口縁部<br>1/3<br>底部<br>1/2  |
| 45       | 102      |              | SK06<br>P66 | 常滑<br>赤物 | カマド      | 口縁部       | (41.7)     | —            | (9.05)     | 外面：ナデ<br>内面：イタナデ<br>口縁部：ヨコナデ                                | 内外面：煤<br>穿孔                   | 良好       | 粗<br>1.0～<br>5.0mm の確<br>含む           | 淡褐色 5YR8/4<br>浅黄褐色<br>7.5YR8/6                                       | 民の<br>5/12               |
| 46       | 103      |              | SK06<br>P66 | 常滑<br>赤物 | カマド      | 底部        | —          | (36.0)       | (18.1)     | 外面：斜め方向のイ<br>タナデ<br>内面：横斜め方向の<br>イタナデ、ナデオサ<br>エ             | 内外面：煤                         | 良好       | 粗<br>1.0～<br>5.0mm の確<br>含む           | にぶい黄色<br>5YR7/4<br>7.5YR7/4                                          | 民の<br>1/6                |
| 47       | 37       |              | SK07        | 須恵器      | 甕        | 頸部        | —          | —            | (8.1)      | 外面：タタキ目、波<br>紋<br>内面：ナデ                                     | 内面：自然磨<br>時期不明だがH-61号<br>窯式以降 | 良好       | やや密<br>1.0mm 以下の<br>確含む               | 外面：灰白色<br>2.5Y7/1<br>内面：にぶ<br>い黄褐色<br>10YR7/2                        | 灰化部<br>のみ                |
| 48       | 36       |              | SK07        | 陶器       | 小瓶       | 底部        | —          | (4.6)        | (2.45)     | 外面：下部ヘラケズ<br>リ。底部回転系切り<br>内面：回転ナデ                           | 外面：灰軸<br>外面底部近くにトチカ<br>ビンの破片  | 良好       | 密                                     | 胎土：にぶ<br>い黄褐色<br>10YR6/3<br>軸：にぶい、黄<br>色 2.5Y6/3                     | 底部<br>1/2                |
| 49       | 21       |              | SK08        | 土師器      | 付付甕      | 脚部        | —          | —            | (3.05)     | 外面：横方向のイ<br>タナデ<br>内面：ナデか、イ<br>タナデか                         | 激しく磨耗                         | 良好       | やや密<br>1.0mm 程の<br>確含む<br>砂粒含む        | 胎土：にぶ<br>い黄褐色<br>10YR7/4、視<br>察むきかき<br>内面：にぶい<br>褐色 7.5YR7/4         | 民の<br>1/1                |
| 50       | 20       |              | SK08        | 須恵器      | 把手       |           | —          | —            | (4.75)     | 外面：ナデ、イタナ<br>デ<br>内面：横方向のイ<br>タナデ、ユビオサエ                     |                               | やや<br>軟質 | やや密<br>1.0mm 程の<br>確含む                | 内外面：灰色<br>5Y6/1、明黄<br>褐色 10YR7/6<br>断面：明黄褐<br>色 10YR7/6              | 灰化部<br>のみ                |
| 51       | 18       |              | SK08        | 灰釉陶器     | 小瓶       | 底部一<br>体部 | —          | (6.05)       | (6.2)      | 内面：回転ナデ<br>底部外面：回転系切<br>り直                                  | 底部内外面：軸むきに残<br>る K-90 号式副以降   | 良好       | 密                                     | 胎土：灰白<br>色 2.5Y8/1                                                   | 民の<br>1/3                |
| 52       | 19       |              | SK08        | 灰釉陶器     | 甕        | 底部        | —          | 高台径<br>(6.9) | (3.05)     | 外面：回転ナデ、回転<br>ヘラケズリ、付高台<br>底部外面：回転系切<br>り直後ヘラケズリ<br>内面：回転ナデ | 底部外面：線刻<br>O-53号～H-72号式<br>副  | 軟質       | 密                                     | 灰白色<br>10YR8/1                                                       | 底部<br>1/12<br>高台部<br>1/3 |
| 53       | 40       |              | SK09        | 磁器       | 甕        | 口縁部       | (12.0)     | —            | (3.2)      |                                                             | 内外面：御座染付、透明釉                  | 良好       | 緻密                                    | 胎土：白色<br>N9/0<br>軸：灰白色<br>N8/0                                       | 民の<br>1/6                |
| 54       | 43       |              | SK09        | 陶器       | 甕        | 把手        | —          | —            | (3.45)     | 内外面：ナデ、ナ<br>デオサエ                                            | 内外面：鉄軸                        | 良好       | 密                                     | 胎土：にぶ<br>い黄褐色<br>10YR7/4<br>軸：赤褐色<br>2.5YR4/6                        | 灰化部<br>のみ                |
| 55       | 29       |              | SK09        | 陶器       | 灯明<br>受皿 |           | 6.55       | 3.3          | 1.5        | 外面：回転ナデ、底<br>部回転ヘラケズリ                                       | 内外面：灰軸<br>江戸時代後期              | 良好       | 密                                     | 胎土：灰白色<br>2.5Y8/1<br>軸：灰白色<br>5Y7/1                                  | 底部<br>1/1<br>口縁部<br>3/4  |
| 56       | 39       |              | SK09        | 陶器       | 磁鉢       | 口縁部       | —          | —            | (6.3)      | 内面：すり目                                                      | 内外面：鉄軸<br>内面：鉄軸<br>近代以降       | 良好       | 密                                     | 胎土：灰白色<br>2.5Y8/2<br>軸：すり目に<br>ぶい黄褐色<br>5YR4/3、<br>鉄軸黒色<br>10Y2/1    | 民の<br>1/12<br>以下         |
| 57       | 42       |              | SK09        | 軟質陶器     | 甕蓋       |           | (17.9)     | —            | (2.85)     | 内外面：ナデ、一部<br>ケズリ直                                           | 内外面：透明釉                       | 良好       | 密                                     | 褐色 5YR6/6                                                            | 民の<br>1/6                |
| 58       | 41       |              | SK09        | 軟質陶器     | 甕        |           | (14.65)    | 6.3          | 5.5        | 外面：把手付、ナ<br>デオサエ、ナデ後<br>ケズリか<br>内面：回転ナデ                     | 外面：煤、口縁部透明釉<br>内面：透明釉         | 良好       | 密                                     | 明黄褐色<br>2.5YR5/8                                                     | 口縁部<br>3/4<br>底部<br>1/1  |
| 59       | 28       |              | SK09        | 陶器       | 手製甕      |           | (17.4)     | 高台径<br>13.7  | 17.3       | 内外面：回転ナデか<br>口縁部：重ね焼き直<br>か<br>底部外面：付高台、<br>ナデ、回転ヘラケズ<br>リ  | 内外面：鉄軸、一部自然釉<br>江戸時代後期        | 良好       | 密                                     | 胎土：底部<br>にぶい黄褐<br>色 10YR6/3<br>断面黄褐色<br>2.5Y6/1<br>軸：灰赤色<br>2.5YR4/2 | 底部<br>1/1<br>口縁部<br>1/12 |

| 調査<br>番号 | 実測<br>番号 | 調査区・<br>グリッド | 遺構名・<br>層位等 | 区分  | 器種        | 部位        | 寸法         |                |                                             | 図番号                                                                    | 特記事項                                                    | 産地                           | 土質                                                             | 色調                                                    | 保存率                       |
|----------|----------|--------------|-------------|-----|-----------|-----------|------------|----------------|---------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------|------------------------------|----------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------|---------------------------|
|          |          |              |             |     |           |           | 口径<br>(cm) | 底径<br>(cm)     | 高さ<br>(cm)                                  |                                                                        |                                                         |                              |                                                                |                                                       |                           |
| 60       | 27       |              | SK11        | 須恵器 | 高坏        | 脚部        | —          | 脚部径<br>(14.7)  | (3.5)                                       | 外面：ナデ、波状文<br>10か11本<br>内面：回転ナデ、回<br>転ナデ後ナデ                             | 透かし                                                     | 良好                           | 密                                                              | 外面：灰白色<br>5Y7/1<br>内面断面：灰<br>色5Y6/1                   | 図の<br>1/12<br>脚部底<br>面わずか |
| 61       | 26       |              | SK11        | 陶器  | 土管        | 接合部       | (14.0)     | 胴径<br>(10.55)  | 長さ<br>(12.8)                                | 内外面：イタナデ<br>接合口縁部：回転ナ<br>デ                                             | 木型で成形後に2つの管<br>部分を合わせていると考<br>えられ、接合部外面に縦方<br>向の痕跡として残る | 良好                           | やや粗<br>10mm程の<br>継ぎ目                                           | 粘土：棕色<br>2.5YR6/2<br>釉：灰白色<br>2.5YR4/2                | 接合部<br>1/2<br>胴部<br>1/3   |
| 62       | 56       |              | SK12        | 陶器  | 火鉢        | 口縁部       | —          | —              | (5.55)                                      | 内面：灰釉、口縁部のふ<br>輪<br>火鉢として使用した影響<br>で内面の釉が2次焼成し<br>ており釉がたれたり剥<br>離している  | 良好                                                      | やや密<br>10mm以下<br>の継ぎ目<br>に含む | 粘土：灰白色<br>2.5YR/2<br>釉：緑灰色<br>10G6/1灰白<br>色5YR/2               | 図の<br>1/12<br>以下                                      |                           |
| 63       | 25       |              | SK14        | 磁器  | 小皿        | —         | (11.6)     | (5.55)         | 1.95                                        | 内外面：染付、透明釉                                                             | 良好                                                      | 緻密                           | 粘土：灰白色<br>5YR/1<br>釉：灰白色<br>N8/1                               | 図の<br>1/2                                             |                           |
| 64       | 24       |              | SK14        | 磁器  | 茶碗        | —         | (9.6)      | 高台径<br>(3.25)  | 4.05                                        | 外面：クロム釉青磁、茶色<br>と緑色のプリント<br>内面：透明釉                                     | 良好                                                      | 緻密                           | 粘土：白色<br>N9/0<br>釉：灰白色<br>N8/0                                 | 図の<br>1/4                                             |                           |
| 65       | 57       |              | SK14        | 陶器  | 双耳瓶       | 口縁・<br>体部 | (10.2)     | —              | (4.15)                                      | 内外面：灰釉<br>外面：肥子<br>内面：黒釉部：輪ツネトリ<br>内面に鉄分付着、焼成時や<br>摩耗後でなく使用時によ<br>るものか | 良好                                                      | 密                            | 粘土：灰黄色<br>2.5Y7/2、表面<br>一部に灰・黄<br>棕色 10YR6/4<br>釉：灰白色<br>5Y7/2 | 口縁部<br>1/12<br>体部<br>1/6                              |                           |
| 66       | 23       |              | SK14        | 陶器  | 徳利        | 体部        | —          | —              | (11.15)                                     | 外面：鉄絵、灰釉<br>内面：灰釉                                                      | 良好                                                      | 密                            | 粘土：灰白色<br>2.5YR/2<br>釉：鉄絵黒<br>色 2.5Y3/2<br>灰釉淡黄色<br>2.5YR/4    | 図の<br>1/2                                             |                           |
| 67       | 22       |              | SK14        | 陶器  | 半割瓶       | 底部・<br>体部 | —          | (16.3)         | (19.7)                                      | 外面：輪絵<br>底部：鉄絵<br>内面：輪絵<br>底部内面：トナリ 2ヶ所<br>割部下半・底部力キ輪ハ<br>ケがけ          | 良好                                                      | 密                            | 粘土：淡黄色<br>2.5YR/3<br>釉：褐色<br>7.5YR4/4                          | 図の<br>1/6                                             |                           |
| 68       | 30       |              | SK18        | 須恵器 | 甗台        | —         | (10.3)     | 4.7            | 外面：横方向にイタ<br>ナデかヘラズリナデか<br>内面：横方向にイタ<br>ナデか | 穿孔 5ヶ所                                                                 | 軟質                                                      | 密                            | 白色 N9/0<br>灰白色 N7/0                                            | 図の<br>1/2                                             |                           |
| 69       | 38       |              | SK21        | 陶器  | 器鉢        | 底部        | —          | (15.7)         | (7.4)                                       | 外面：回転ヘラズリ、<br>底部回転ヘラズ<br>リ後ナデ                                          | 内外面：灰釉<br>底部外面：焼熱痕<br>内面：同子痕                            | 良好                           | やや密                                                            | 粘土：灰白色<br>2.5YR/2<br>釉：褐色<br>5Y7/3                    | 図の<br>1/6                 |
| 70       | 33       |              | SK23        | 土師器 | 高坏        | 脚部        | —          | —              | (1.9)                                       | 内外面：ナデ                                                                 | 全体的に磨耗                                                  | 良好                           | やや密                                                            | 外面断面：<br>淡赤褐色<br>2.5YR7/4<br>内面：にぶい<br>棕色 7.5YR7/4    | 図の<br>1/6                 |
| 71       | 31       |              | SK23        | 須恵器 | 坏身        | 体部        | —          | —              | (3.0)                                       | 外面：回転ナデ、回<br>転ヘラズリか<br>内面：回転ナデ                                         | H-61号窯式前後か                                              | 良好                           | 密                                                              | 外面：灰色<br>7.5Y5/1<br>内面：灰色<br>N5/0<br>断面：灰褐色<br>5YR5/1 | 図の<br>1/12<br>以下          |
| 72       | 32       |              | SK23        | 須恵器 | 高台付<br>坏身 | 底部        | —          | 高台径<br>(9.9)   | (1.1)                                       | 外面：回転ナデ、付<br>高台、ナデ、<br>内面：回転ナデ<br>底部：回転糸切り痕<br>か                       | 1-25号式前後か                                               | 良好                           | 密                                                              | 外面：灰色<br>N5/1<br>内面断面：オ<br>リーブ灰<br>色 2.5Y6/1          | 図の<br>1/6                 |
| 73       | 15       |              | SD07        | 須恵器 | 瓶類        | 高台部       | —          | 高台径<br>(8.2)   | (2.15)                                      | 内外面：回転ナデ、<br>回転ヘラズリ                                                    | 外面：自然釉                                                  | 良好                           | 密                                                              | 黄灰色<br>2.5Y6/1                                        | 図の<br>1/6                 |
| 74       | 16       |              | SD07        | 須恵器 | 高坏        | —         | (13.75)    | 脚部径<br>(11.55) | 12.6                                        | 坏部：回転ナデ、下<br>部ヘラズリ、ナデ<br>脚部：外面力キ目<br>横方向のナデ、内面<br>回転ナデ                 | 三角形の透かし三方向<br>身のH-11号大きくH-61号<br>窯式前後か                  | 良好                           | 密<br>砂粒含む                                                      | 灰色 N6/0                                               | 坏部<br>1/4<br>脚部<br>3/4    |
| 75       | 13       |              | SD02        | 磁器  | 皿         | —         | —          | 高台径<br>7.2     | (2.2)                                       | 内面：陶製、染付、透明釉<br>底の目輪割ぎ高台<br>肥前磁器編年Ⅳ期（18C<br>後半か）                       | 底面外面：回転ナデ                                               | 良好                           | 緻密                                                             | 粘土：白色<br>N9/0<br>釉：灰白色<br>N8/0                        | 高台底<br>部 1/1              |
| 76       | 14       |              | SD08        | 陶器  | 皿         | 底部        | —          | 高台径<br>(5.7)   | (1.15)                                      | 内外面：灰釉                                                                 | —                                                       | 良好                           | 密                                                              | 粘土：灰白色<br>5YR/1<br>釉：灰白色<br>5YR/2                     | 図の<br>1/3                 |
| 77       | 81       |              | PO9         | 陶器  | 皿         | 底部        | —          | (5.5)          | (0.95)                                      | 外面：灰釉<br>内面：灰釉、上縁付、鉄絵<br>か、目録か<br>火山噴                                  | —                                                       | 良好                           | 密                                                              | 粘土：灰白色<br>2.5Y7/1<br>釉：明子<br>ー灰白<br>色 2.5Y7/1         | 図の<br>1/6                 |

第4章 出土遺物

| 発掘<br>番号 | 発掘<br>区画 | 調査区・<br>グリッド | 遺構名・<br>層位等 | 区分              | 遺種        | 部位         | 測量         |               |            | 調査号                                    | 特記事項                                         | 状況 | 出土                                     | 色別                                            | 残存率                                    |
|----------|----------|--------------|-------------|-----------------|-----------|------------|------------|---------------|------------|----------------------------------------|----------------------------------------------|----|----------------------------------------|-----------------------------------------------|----------------------------------------|
|          |          |              |             |                 |           |            | 口径<br>(cm) | 直径<br>(cm)    | 高さ<br>(cm) |                                        |                                              |    |                                        |                                               |                                        |
| 78       | 79       |              | P15         | 陶器              | 鉢         | 体部         | —          | —             | (4.75)     |                                        | 外面：鉄絵、透明釉<br>内面：透明釉                          | 良好 | 密                                      | 胎土：灰白色<br>2.5Y8/2<br>釉：灰白色<br>5Y8/2           | 図4部<br>のみ                              |
| 79       | 80       |              | P24         | 金属器             | 鉄製鋼       |            | (23.9)     | —             | (6.7)      |                                        | 把手留め具<br>内外面：全体的にサビ付着                        |    |                                        | 外面：紺色<br>内面：白色<br>N9/0                        | 図の<br>1/2                              |
| 80       | 74       |              | P25         | 磁器              | 不明        |            | (1295)     | —             | (3.15)     |                                        | 内外面：透明釉<br>外面一部黄緑色剥落                         | 良好 | 緻密                                     | 胎土：白色<br>N9/0<br>釉：灰白色<br>N8/0                | 図4部<br>1/12<br>体部<br>1/6               |
| 81       | 77       |              | P26         | 須恵器             | 甕類        | 胴部         | —          | —             | (4.8)      | 外面：タタキ目<br>内面：イタナデ                     | 外面：平行タタキ                                     | 良好 | 密                                      | 胎土：灰白色<br>10YR8/1<br>内面断面：灰<br>色 N6/0         | 図<br>1/12<br>以下                        |
| 82       | 78       |              | P26         | 須恵器             | 甕類        | 体部         | —          | —             | —          | 外面：タタキ目<br>内面：ナメ方向の<br>イタナデか           | 外面：平行タタキ<br>内面：付着物                           | 良好 | やや密<br>砂粒含む                            | 外面：暗灰色<br>N3/0<br>断面：灰色<br>N5/0               | 図4部<br>のみ                              |
| 83       | 71       |              | P40         | 須恵器             | 高杯        | 杯部         | —          | —             | (0.9)      | 外面：回転ヘラケズ<br>リ、ナデ<br>内面：回転ナデ、ナ<br>デ    | 時期不明                                         | 良好 | 密<br>砂粒含む                              | 外面：黄灰色<br>2.5Y5/1<br>内面断面：褐<br>灰色 10YR7/1     | 図の<br>1/3                              |
| 84       | 76       |              | P48         | 土師器             | 壺         | 口縁部        | —          | —             | (4.3)      | 外面：横ナメ方向<br>のハケメ<br>内面：横方向のハケメ         | 内面：黒炭                                        | 良好 | やや密<br>1.0mm 以下<br>の塵多く含<br>む          | 外面：褐色<br>7.5YR6/6<br>断面：浅黄<br>い黄褐色<br>10YR7/4 | 図4部<br>のみ                              |
| 85       | 73       |              | P56         | 須恵器             | 甕類        | 胴部         | —          | —             | —          | 外面：波状文、沈線<br>1本<br>内面：回転ナデ             |                                              | 良好 | 密                                      | 胎土：灰白色<br>2.5Y7/1                             | 図4部<br>のみ                              |
| 86       | 67       |              | P70         | 磁器              | 碗         | 口縁部<br>～体部 | (12.0)     | —             | (4.65)     |                                        | 内外面：染付、透明釉                                   | 良好 | 緻密                                     | 胎土：白色<br>N9/0<br>釉：薄い水色                       | 図の<br>1/2                              |
| 87       | 68       |              | P70         | 磁器              | 小碗        |            | (7.4)      | 高台径<br>(3.35) | 4.7        |                                        | 外面：割腹染付 2ヶ所、<br>透明釉                          | 良好 | 緻密                                     | 胎土：灰白色<br>5Y8/2<br>釉：灰白色<br>5Y8/1             | 図の<br>1/2                              |
| 88       | 69       |              | P70         | 磁器              | 碗         |            | (10.5)     | 高台径<br>(4.1)  | 5.85       |                                        | 内外面：染付、透明釉                                   | 良好 | 緻密                                     | 胎土：白色<br>N9/0<br>釉：灰白色<br>N8/0                | 高台部<br>2/3<br>体部<br>1/3<br>口縁部<br>わずかに |
| 89       | 66       |              | P70         | 磁器              | 鉢         |            | (15.0)     | (7.5)         | 5.5        | 外面：外面底部ナデ                              | 内外面：染付、透明釉<br>底面内見込みに 2 文字、<br>外面に 2 文字× 2ヶ所 | 良好 | 緻密                                     | 胎土：白色<br>N9/0<br>釉：明緑灰色<br>10GY8/1            | 図の<br>1/2                              |
| 90       | 70       |              | P70         | 瓦               | 軒瓦        |            |            |               |            | 凸面：ナデ、ヘラナ<br>デ一部ヘラズリ<br>凹面：イタナデ、ナ<br>デ | 瓦文数 12<br>文様三つ巴文、左回リ、ハ<br>ナレ砂                | 良好 | やや密<br>1.0mm 程の<br>塵を平に含<br>む          | 凸面：灰白色<br>5Y4/1、M4/0<br>断面：灰白色<br>7.5Y7/1     |                                        |
| 91       | 75       |              | P83         | 土師器             | 高杯        | 杯部         | —          | —             | (1.5)      | 粘土顆ざ                                   | 内外面：著しく磨耗                                    | 良好 | やや密<br>1.0mm 以下<br>の塵含む                | 褐色<br>7.5YR7/6、外<br>部一部褐色<br>5YR7/6           | 接合部<br>1/1<br>杯部<br>1/12               |
| 92       | 72       |              | P99         | 須恵器             | 甕類        | 体部         | —          | —             | —          | 外面：タタキ目<br>内面：ナデ                       | 外面：平行タタキ                                     | 良好 | 密                                      | 胎土：灰白色<br>N7/1<br>内面：灰白色<br>N7/0              | 図4部<br>のみ                              |
| 93       | 112      | B 列          |             | 土師器             | 有段<br>口縁壺 | 口縁部        | —          | —             | (3.1)      | 外面：波状文                                 | 二重口縁<br>内面：著しく磨耗                             | 良好 | 密<br>1.0～<br>2.0mm 程の<br>塵含む           | 褐色 7.5YR6/6                                   | 図の<br>1/12<br>以下                       |
| 94       | 11       | 4B           |             | 先土<br>器か土<br>師器 | 有段<br>口縁壺 | 口縁部        | —          | —             | (3.5)      | 内外面：磨くハケメ<br>残る<br>内面：ヨコナデ             | 内面、口縁部：著しく磨耗                                 | 良好 | やや密<br>1.0～<br>2.0mm の塵<br>含む          | 外面：褐色<br>2.5YR6/6<br>内面：褐色<br>7.5YR7/6        | 図の<br>1/12<br>以下                       |
| 95       | 4        | 6B           | 包含層         | 土師器             | 高杯か<br>器台 | 胴部         | —          | —             | (2.0)      | 外面：横線文、沈線<br>内面：イタナデ                   |                                              | 良好 | 密                                      | 褐色 5YR7/6                                     | 図の<br>1/12<br>以下                       |
| 96       | 128      | 5A           |             | 土師器             | 杯         | 杯部         | (10.6)     | —             | (2.7)      | 外面：スス<br>内外面：著しく磨耗                     |                                              | 良好 | やや密<br>1.0～<br>2.0mm の塵<br>含む          | 外面：褐色<br>5YR6/6<br>内面：褐色<br>7.5YR7/6          | 図の<br>1/12<br>以下                       |
| 97       | 3        | 6B           | 包含層         | 土師器             | 高杯        | 杯部         | —          | —             | (4.2)      | 外面：黒炭                                  |                                              | 良好 | やや密<br>1.0～<br>3.0mm の塵<br>含む          | 外面：明黄褐色<br>10YR7/6<br>内面：褐色<br>7.5YR7/6       | 図の<br>1/12<br>以下                       |
| 98       | 2        | 6B           | 包含層         | 土師器             | 高杯        | 杯部         | (14.4)     | —             | (4.3)      | 内外面：著しく磨耗<br>松河バ～宇田式か                  |                                              | 良好 | やや密<br>0.5～<br>2.0mm の塵<br>多く含む        | 褐色 5YR6/6                                     | 図の<br>1/6                              |
| 99       | 131      | 6A           | 包含層         | 土師器             | 高杯        | 胴部         | —          | (8.55)        | (6.3)      | 内面：横方向のイタ<br>ナデ、シボリ痕                   | 内外面：著しく磨耗<br>松河バ～宇田式か                        | 良好 | やや密<br>1.0～<br>1.5mm 程の<br>小石、砂粒<br>含む | 内外面：浅黄<br>褐色 7.5YR8/6<br>断面：灰白色<br>10YR8/2    | 上部<br>1/1<br>底部<br>1/12<br>以下          |

| 国庫<br>番号 | 発掘<br>番号 | 調査区・<br>グリッド   | 遺構名・<br>層位等 | 区分       | 器種  | 部位        | 法量         |               |            | 図番号                                                                   | 特記事項                                                                             | 地産  | 胎土                                                  | 色調                                          | 保存率                      |
|----------|----------|----------------|-------------|----------|-----|-----------|------------|---------------|------------|-----------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------|-----|-----------------------------------------------------|---------------------------------------------|--------------------------|
|          |          |                |             |          |     |           | 口径<br>(cm) | 底径<br>(cm)    | 高さ<br>(cm) |                                                                       |                                                                                  |     |                                                     |                                             |                          |
| 100      | 1        | 6B             | 包含層         | 土師器      | 高坏  | 脚部        | —          | (13.1)        | (7.1)      | 外面：縦方向のイタナデ<br>内面：横方向のイタナデ                                            | 外面：黒斑、激しく磨耗、シボリ痕<br>松河バ～宇田式<br>脚部が割に内側で緩やかに開く<br>鉄分を多く含んだような2～3mmの茶色の粒を内面に多く含む   | 良好  | やや密<br>2.0～<br>3.0mmの茶色の土の炭まり含む、<br>0.5mm 粒の<br>礫含む | 褐色 5YR6/6                                   | 国の<br>1/1<br>脚底部<br>1/6  |
| 101      | 12       | 4B             |             | 土師器      | 器台  | 脚部        | —          | 脚部径<br>10.0   | (6.2)      | 内面：縦方向のイタナデか、シボリ痕                                                     | 外面：激しく磨耗<br>松河バ～宇田式、脚部が割に内側で緩やかに開く                                               | やや良 | 密<br>1.0mm 粒の<br>礫含む                                | 浅黄褐色<br>7.5YR8/4                            | 脚上部<br>1/1<br>脚底部<br>1/4 |
| 102      | 109      | B 列            |             | 須恵器      | 壺   | 口縁部       | (11.9)     | —             | (5.8)      | 口縁部：ヨコナデ<br>外面：ナデ、沈線<br>内面：ナデ                                         |                                                                                  | 良好  | 密                                                   | 灰白色 N7/0                                    | 国の<br>1/4                |
| 103      | 7        | 4B             |             | 須恵器      | 壺   | 頸部～<br>体部 | —          | —             | (2.8)      | 外面：ヨコナデ、横<br>方向のイタナデか<br>内面：回転ナデ、ナ<br>デ                               |                                                                                  | 良好  | 密                                                   | 灰白 10YR7/1                                  | 頸部<br>1/4<br>体部<br>1/12  |
| 104      | 110      | B 列            |             | 須恵器      | 高坏  | 脚部        | —          | —             | (2.6)      | 内外面：ナデ                                                                | 時期不明                                                                             | 良好  | 密<br>砂粒含む                                           | 灰色 N6/0                                     | 国の<br>1/1<br>底部<br>1/4   |
| 105      | 9        | 4B             |             | 須恵器      | 高坏  | 脚部        | —          | —             | (6.0)      | 外面：回転ナデ沈線<br>1本、<br>内面：回転ナデ、シ<br>ボリ痕                                  | 内外面：自然輪<br>透かし2段3方向か                                                             | 良好  | 密                                                   | 灰色 N6/0                                     | 国の<br>1/4                |
| 106      | 8        | 4B             |             | 須恵器      | 坏身  |           | —          | —             | (2.2)      | 内面：回転ナデ、<br>ナデ                                                        | 外面：自然輪<br>6C 頃か                                                                  | 良好  | 密                                                   | 灰白色 N7/0                                    | 国の<br>1/12<br>以下         |
| 107      | 10       | 4B             |             | 須恵器      | 甕   | 口縁部       | —          | —             |            | 外面：横方向のイタ<br>ナデ、ヨコナデ<br>内面：横方向のイタ<br>ナデ<br>口縁部：ヨコナデ、<br>ナメ方向のハケメ<br>か | 内面：自然輪                                                                           | 良好  | 密                                                   | 灰白色<br>10YR7/1                              | 国の<br>1/12<br>以下         |
| 108      | 6        | 6B             | 包含層         | 須恵器      | 甕類  | 体部        | —          | —             | (8.7)      | 外面：タタキ目<br>内面：イタナデ                                                    | 外面：平行タタキ                                                                         | 良好  | 密                                                   | 灰色 N6/0                                     | 国の<br>1/12<br>以下         |
| 109      | 5        | 6B             | 包含層         | 須恵器      | 甕類  | 体部        | —          | —             | (4.9)      | 外面：タタキ目<br>内面：ナデ                                                      | 外面：編織文                                                                           | 良好  | 密                                                   | 褐色<br>10YR6/1                               | 国の<br>1/12<br>以下         |
| 110      | 137      | 4A             | 包含層         | 須恵器      | 鉢   | 口縁部       | —          | —             | (3.25)     | 外面：タタキ目<br>内面：イタナデ<br>口縁部：ヨコナデ                                        | 外面：平行タタキ                                                                         | 良好  | 密                                                   | 灰白色<br>2.5Y7/1                              | 国の<br>1/12<br>以下         |
| 111      | 133      | 4 列 B<br>— C 間 | 包含層         | 須恵器      | 台付鉢 | 底部        | —          | 高台径<br>(13.3) | (14.4)     | 外面：タタキ目<br>底部外面：ナデ、付<br>高台、<br>内面：横方向のイタ<br>ナデ、ナデオサエ、<br>ナデ           | 内外面：自然輪<br>外面：平行タタキ、高台～<br>底部激しく磨耗                                               | やや良 | 密<br>砂粒含む                                           | 外面断面：灰<br>白色 2.5YR/2<br>内面：灰色<br>7.5Y5/1    | 体部<br>1/4<br>高台部<br>5/12 |
| 112      | 111      | B 列            |             | 須恵器      | 瓶   | 底部        | —          | (6.9)         | (1.15)     | 外面：ヘラケズリ<br>内面：ナデ<br>底部：イタナデ                                          | 底部：重ね焼き痕                                                                         | 良好  | 密                                                   | 灰白色<br>2.5Y7/1                              | 国の<br>1/6                |
| 113      | 145      | B 列            | 包含層         | 須恵器      | 横瓶  | 体部        | —          | —             | (4.9)      | 外面：回転ヘラケズ<br>リ、沈線2本か<br>内面：回転ナデ                                       | 外面：自然輪                                                                           | 良好  | やや密                                                 | 灰白色<br>2.5Y7/1                              | 1/4                      |
| 114      | 129      | A 列<br>1-2 間   |             | 灰輪<br>陶器 | 小瓶  |           | (8.9)      | 高台径<br>(4.0)  | (2.8)      | 外面：回転ヘラケズ<br>リ、回転ナデ、<br>底部外面：ナデ                                       | 内面、外面：口縁部：灰輪<br>付高台、わずかに自然輪                                                      | 良好  | やや密                                                 | 胎土：灰白色<br>2.5YR/1<br>輪：オリブ<br>褐色 7.5Y6/3    | 国の<br>1/6                |
| 115      | 138      | B 列            | 包含層         | 須恵器      | 瓶類  | 頸部        | —          | —             | (5.85)     |                                                                       | 内外面：自然輪                                                                          | 良好  | 密                                                   | 灰白色 N6/0                                    | 国の<br>1/2                |
| 116      | 127      | 5A             |             | 無釉<br>陶器 | 蓋   |           | (12.3)     | —             | (2.5)      | 外面：ヘラケズリ、<br>イタナデか<br>内面：ヘラケズリ、<br>ナデ                                 | 短頸部の蓋か                                                                           | 良好  | やや密<br>砂粒含む                                         | 灰白色<br>10YR7/1                              | 国の<br>1/4                |
| 117      | 106      | 3B             | 包含層         | 磁器       | 坏   |           | (6.55)     | 高台径<br>(1.9)  | 2.7        |                                                                       | 外面：染付、透明輪<br>内面：土色わずかに残る、<br>透明輪、足込みに「千」か                                        | 良好  | 緻密                                                  | 胎土：白色<br>N9/0<br>輪：灰白<br>N8/0               | 国の<br>1/2                |
| 118      | 107      | 3B             | 包含層         | 磁器       | 碗   |           | 11.25      | 高台径<br>3.8    | 4.65       |                                                                       | 外面：クロム輪青磁、緑と<br>茶色の土粒付、陶刻<br>内面：透明輪<br>2次の被熱を受けたと見<br>られる上縁の一部がとけ、他<br>の陶器の破片が輪着 | 良好  | 緻密                                                  | 胎土：白色<br>N9/0<br>輪：明緑灰色<br>10GY8/1に近<br>い透明 | 口縁部<br>3/4<br>底部<br>1/1  |
| 119      | 117      | 3B・4B          | 包含層         | 磁器       | 碗   |           | (10.7)     | 高台径<br>(4.05) | 5.45       |                                                                       | 内外面：染付、透明輪                                                                       | 良好  | 緻密                                                  | 胎土：白色<br>N9/0<br>輪：明緑灰色<br>10GY8/1に近<br>い水色 | 口縁部<br>1/6<br>高台<br>3/4  |

第4章 出土遺物

| 発掘<br>番号 | 東洋<br>番号 | 調査区・<br>グリッド | 遺構名・<br>層位等 | 区分                         | 器種  | 部位  | 寸法                          |               |            | 調査号                                                             | 特記事項                                                                         | 状況  | 胎土                      | 色別                                                            | 残存率                                    |
|----------|----------|--------------|-------------|----------------------------|-----|-----|-----------------------------|---------------|------------|-----------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------|-----|-------------------------|---------------------------------------------------------------|----------------------------------------|
|          |          |              |             |                            |     |     | 口径<br>(cm)                  | 直径<br>(cm)    | 高さ<br>(cm) |                                                                 |                                                                              |     |                         |                                                               |                                        |
| 120      | 108      | 3B           | 包含層         | 磁器                         | 碗   |     | 9.45                        | 3.6           | 4.95       |                                                                 | 内外面：染付、透明釉<br>焼成時によるものか外面<br>の釉が一部たれあり                                       | 良好  | 緻密                      | 胎土：灰白色<br>7.5YR/1<br>釉：水色                                     | 口縁部<br>2/3<br>底部<br>1/1                |
| 121      | 132      | 5B           |             | 磁器                         | 皿   |     | (11.6)                      | 高台径<br>(5.0)  | 2.0        |                                                                 | 外面：透明釉<br>内面：空白、透明釉                                                          | 良好  | 緻密                      | 胎土：白色<br>N9/0<br>釉：水色                                         | 底の<br>1/6                              |
| 122      | 114      | B列           |             | 磁器                         | 皿   | 底部  | —                           | (6.6)         | (2.2)      |                                                                 | 内外面：瀬戸染付、透明釉<br>蛇の目高台                                                        | 良好  | 緻密                      | 胎土：灰白色<br>5YR/1<br>釉：水色                                       | 底の<br>1/3                              |
| 123      | 120      | B列5<br>～6間   |             | 磁器                         | 蓋   |     | (8.8)<br>つま<br>み径<br>(2.85) | —             | 2.65       |                                                                 | 内外面：染付、透明釉                                                                   | 良好  | 緻密                      | 胎土：白色<br>N9/0<br>釉：明緑灰色<br>10GY8/1 に近<br>い水色                  | 底の<br>1/2                              |
| 124      | 115      | B列           |             | 磁器                         | 蓋   |     | (9.3)<br>つま<br>み径<br>(3.6)  | —             | 2.8        |                                                                 | 内外面：染付、透明釉                                                                   | 良好  | 緻密                      | 胎土：白色<br>N9/0<br>釉：明緑灰色<br>7.5GY8/1                           | 底の<br>1/2                              |
| 125      | 113      | B列           |             | 磁器                         | 蓋台  |     | (4.1)                       | (4.7)         | 5.1        |                                                                 | 内外面：透明釉、染付、露<br>胎                                                            | 良好  | 緻密                      | 胎土：白色<br>N9/0<br>釉：水色                                         | 底の<br>1/2                              |
| 126      | 130      | 5A           |             | 磁器                         | 段重  | 最下段 | —                           | 幅<br>12.0     | 5.5        |                                                                 | 外面：染付、透明釉<br>内面：透明釉<br>蓋物の重さと考えられる。口<br>縁部と内面の釉はかけ<br>られておらず蓋をしてい<br>たと考えられる | 良好  | 緻密                      | 胎土：白色<br>N9/0<br>釉：水色                                         | 1/2                                    |
| 127      | 116      | 3B           | 包含層         | 陶器                         | 徳利  | 底部  | —                           | (5.8)         | (1.9)      | 内面：ナデ                                                           | 外面：透明釉、上貼付<br>外面底部：黒書「ウン」                                                    | 良好  | 密                       | 胎土：灰白色<br>2.5YR/7<br>釉：灰白色<br>2.5YR/1                         | 底の<br>1/2                              |
| 128      | 119      | 3B           | 包含層         | 陶器                         | 徳利  |     | 4.2 ～<br>4.5                | 6.0           | 10.75      | 外面：横線文<br>底部外面：回転ヘラ<br>ケズリ                                      | 内外面：鉄釉、白泥                                                                    | やや良 | やや密<br>砂粒含む             | 胎土：褐色<br>5YR5/6<br>釉：灰色<br>7.5Y5/1                            | 口縁部<br>11/12<br>底部<br>1/2<br>底面<br>1/1 |
| 129      | 118      | 3B           | 包含層         | 陶器                         | 播鉢  | 口縁部 | (31.8)                      | —             | (6.5)      | 内面：すり目                                                          | 内外面：鉄釉                                                                       | 良好  | やや密                     | 胎土：浅黄褐色<br>10YR8/3<br>釉：赤褐色<br>5YR4/6                         | 底の<br>1/2                              |
| 130      | 104      | 3B           | 包含層         | 陶器                         | 播鉢  | 口縁部 | (36.85)                     | —             | (10.1)     | 内面：すり目、沈線<br>1本                                                 | 内外面：鉄釉<br>すり目1単位7条                                                           | 良好  | やや粗<br>1.0mm 以下の<br>確含む | 胎土：にぶい<br>褐色 7.5YR/7<br>釉：暗赤褐色<br>5YR4/4                      | 底の<br>1/12                             |
| 131      | 126      | B列2<br>～3間   | 包含層         | 陶器                         | 播鉢  | 底部  | —                           | (14.6)        | (2.2)      | 内面：すり目                                                          | 内外面：鉄釉<br>すり目5条1単位<br>底面端部微しく磨耗                                              | 良好  | やや密                     | 胎土：浅黄褐色<br>10YR8/3<br>釉：暗赤褐色<br>2.5YR/4                       | 底の<br>1/2                              |
| 132      | 136      | B列           |             | 土師質<br>製品（多<br>孔土質土<br>製品） |     |     | —                           | —             | —          | 内外面：ナデ                                                          | 器の穴は内側から穿孔、<br>底部径 9cm 前後、<br>内面はヤスガが付着                                      | 良好  | やや密<br>0.8mm 程の<br>確含む  | 内面：灰黄色<br>2.5Y7/2<br>外面：にぶい、<br>褐色 7.5YR/7                    | 灰化部<br>のみ                              |
| 133      | 134      | B列           |             | 常滑<br>赤物                   | カマド | 口縁部 | (44.1)                      | —             | 6.5        | 内外面：イタナデ<br>口縁部：ヨコナデ                                            | 内面・外面・口縁部：黒<br>穿孔                                                            | 良好  | やや粗<br>1.0mm 程の<br>確含む  | 褐色 5YR7/6                                                     | 1/12                                   |
| 134      | 135      | B列           |             | 陶器                         | 甕   | 底部  | —                           | (22.8)        | 17.85      |                                                                 | 内外面：鉄釉<br>底部高台：鉄釉<br>焼成後二次焼成                                                 | 良好  | やや粗<br>1.0mm 程の<br>確含む  | 胎土：灰白色<br>2.5YR/1<br>釉：にぶい赤<br>褐色 5YR4/4                      | 1/12                                   |
| 135      | 105      | 3B           | 包含層         | ガラス<br>製品                  | 小瓶  |     | —                           | 1.15          | (2.85)     |                                                                 | 瓶面に頸の線2本、色調<br>はやや深い緑色を呈する。<br>気泡多く含まれる。内面に<br>灰色のペースト状のもの<br>が付着（染料痕か）      | 良好  | 透明                      |                                                               | 底の<br>1/1                              |
| 136      | 101      | 5A           |             | 石製品                        | 勾玉  |     |                             |               |            |                                                                 | 石質：玉髄<br>重量 5.5g                                                             |     |                         | 灰白色<br>10YR8/2                                                | 完形                                     |
| 137      | 17       |              | K27         | 灰釉<br>陶器                   | 皿   |     | (14.95)                     | 高台径<br>(7.95) | (2.75)     | 内面：回転ナデ<br>外面：回転ナデ、ナ<br>デ、沈線1本、<br>底部外面：付高台、<br>赤切り後回転ヘラ<br>ケズリ | 内面：釉わずかに残る<br>深け掛け傷、折線<br>外面：印花のようなものか                                       | 良好  | 密<br>砂粒含む               | 外面：黄褐色<br>10YR5/1 に<br>ぶい、黄褐色<br>10YR7/2<br>内面：灰白色<br>2.5YR/1 | 口縁部<br>1/12<br>高台部<br>1/4              |
| 138      | 123      | 南北B          | K01         | 陶器                         | 播鉢  |     | —                           | —             | (3.3)      | 内面：すり目                                                          | 内外面：鉄釉                                                                       | 良好  | やや密                     | 胎土：灰白色<br>2.5YR/2<br>釉：暗赤褐色<br>5YR3/3                         | 底の<br>1/12                             |
| 139      | 122      | 南北B          | K01         | 磁器                         | 碗   |     | (15.65)                     | (5.5)         | 7.05       |                                                                 | 内外面：瀬戸染付、透明釉<br>内面は底3ヶ所<br>削りだし高台                                            | 良好  | 緻密                      | 胎土：白色<br>N9/0<br>釉：透明                                         | 口縁部<br>1/3<br>底部<br>1/1                |
| 140      | 125      | B列1<br>～2間   | 表土          | 須恵器                        | 付付鉢 | 高台部 | —                           | 高台径<br>(15.0) | (2.8)      | 内面：イタナデか<br>底部外面：タタキ目、<br>付高台                                   |                                                                              | やや良 | やや密<br>砂粒含む             | 外面：灰黄褐色<br>10YR5/2<br>内面外面：褐色<br>5YR7/6                       | 底の<br>1/4                              |

| 図録<br>番号 | 実測<br>番号 | 調査区・<br>グリッド    | 遺構名・<br>層位等 | 区分  | 器種  | 部位  | 法量         |            |            | 図録番号                                     | 特記事項                              | 地蔵 | 胎土 | 色調                                                    | 保存年                     |
|----------|----------|-----------------|-------------|-----|-----|-----|------------|------------|------------|------------------------------------------|-----------------------------------|----|----|-------------------------------------------------------|-------------------------|
|          |          |                 |             |     |     |     | 口径<br>(cm) | 直径<br>(cm) | 高さ<br>(cm) |                                          |                                   |    |    |                                                       |                         |
| 141      | 124      | B列1<br>-2間      | 表土          | 磁器  | 小碗  |     | 8.0        | 3.8        | 4.3        |                                          | 内外面：黄褐色、透明釉<br>底部に「玉松園北山製」の<br>文字 | 良好 | 緻密 | 胎土：白色<br>N9/0<br>釉：透明                                 | 口縁部<br>3/4<br>底部<br>1/1 |
| 142      | 140      |                 | 表探          | 磁器  | 蓋   | 口縁部 | (12.7)     | —          | (2.75)     |                                          | 内外面：透明釉<br>外面：クロム軸二本線             | 良好 | 緻密 | 胎土：白色<br>N9/0                                         | 1/6                     |
| 143      | 142      |                 | 表探          | 磁器  | 蓋   | 口縁部 | (12.8)     | —          | (2.85)     |                                          | 内外面：透明釉<br>外面：クロム軸二本線             | 良好 | 緻密 | 胎土：白色<br>N9/0                                         | 1/12                    |
| 144      | 146      |                 | 表土          | 磁器  | 蓋   | 口縁部 | —          | —          | (2.7)      |                                          | 内外面：透明釉<br>外面：クロム軸二本線             | 良好 | 緻密 | 胎土：白色<br>N9/0                                         | 1/12                    |
| 145      | 144      |                 | 表土          | 磁器  | 蓋   | 口縁部 | —          | —          | (2.65)     |                                          | 内外面：透明釉<br>外面：クロム軸二本線             | 良好 | 緻密 | 胎土：白色<br>N9/0                                         | 1/12<br>以下              |
| 146      | 139      |                 | 表土          | 磁器  | 碗   | 口縁部 | (14.8)     | —          | (5.9)      |                                          | 内外面：透明釉<br>内面：コバルト軸星印             | 良好 | 緻密 | 胎土：白色<br>N9/0                                         | 1/4                     |
| 147      | 141      |                 | 表探          | 磁器  | 碗   | 口縁部 | (15.8)     | —          | (3.9)      |                                          | 内外面：透明釉<br>内面：コバルト軸星印             | 良好 | 緻密 | 胎土：白色<br>N9/0                                         | 1/12                    |
| 148      | 143      |                 | 表土          | 磁器  | 碗   | 口縁部 | —          | —          | (4.3)      |                                          | 内外面：透明釉<br>内面：コバルト軸星印             | 良好 | 緻密 | 胎土：白色<br>N9/0                                         | 1/12<br>以下              |
| 149      | 149      | 試掘<br>トレン<br>チ1 | 黒褐色土        | 須恵器 | 坏か蓋 | 口縁部 |            |            | (5.1)      | 外面：回転ナデ、回<br>転ヘラケズリ、ヘラ<br>ケズリ<br>内面：回転ナデ | 内外面：自然釉<br>初開須恵器か                 | 良好 | 密  | 外面：灰色<br>5Y4/1<br>内面：黄灰色<br>2.5Y7/2<br>断面：灰色<br>5Y6/1 | 関化部<br>1/12             |

## 第5章 自然科学分析

### 正木町遺跡第23次発掘調査出土の石製勾玉の材質分析

竹原弘展(パレオ・ラボ)

#### 1. はじめに

中区正木町に所在する正木町遺跡の第23次発掘調査で出土した石製勾玉について、蛍光X線分析を行ない、石材について検討した。

#### 2. 試料と方法

分析対象は、白色半透明の勾玉1点である。

分析装置はエスアイアイ・ナノテクノロジー株式会社製のエネルギー分散型蛍光X線分析計SEA1200VXを使用した。装置の仕様は、X線管が最大50kV、1000 $\mu$ Aのロジウム(Rh)ターゲット、X線照射径が8mmまたは1mm、X線検出器はSDD検出器である。また、複数の一次フィルタが内蔵されており、適宜選択、挿入することでS/N比の改善が図れる。検出可能元素はナトリウム(Na)〜ウラン(U)であるが、ナトリウム、マグネシウム(Mg)、アルミニウム(Al)といった軽元素は、蛍光X線分析装置の性質上、検出感度が悪い。

測定条件は、管電圧・一次フィルタの組み合わせが15kV(一次フィルタ無し)・50kV(一次フィルタPb測定用・Cd測定用)の計3条件で測定時間は各条件500s、管電流自動設定、照射径8mm、試料室内雰囲気真空に設定した。定量分析は酸化物の形で算出し、ノンスタンダードFP法による半定量分析を行なった。

また、電子天秤(株式会社エー・アンド・デイ製GR-60に同比重測定キットAD-1653を使用)で空気中重量と水中重量を測定し、比重を算出した。

#### 3. 分析結果

第4表に蛍光X線半定量分析結果および比重を示す。

蛍光X線分析の結果、アルミニウム( $Al_2O_3$ )、ケイ素( $SiO_2$ )、リン( $P_2O_5$ )、硫黄( $SO_3$ )、カルシウム( $CaO$ )、チタン( $TiO_2$ )、鉄( $Fe_2O_3$ )が検出された。

第4表 半定量分析結果

| $Al_2O_3$ | $SiO_2$ | $P_2O_5$ | $SO_3$ | $CaO$ | $TiO_2$ | $Fe_2O_3$ | 重量   | 比重   |
|-----------|---------|----------|--------|-------|---------|-----------|------|------|
| 1.34      | 98.26   | 0.22     | 0.02   | 0.07  | 0.05    | 0.04      | 5.53 | 2.61 |

#### 4. 考察

試料の勾玉は、褐色の筋が孔周辺にごく少量入る白色半透明で、緻密、硬質な石材である。蛍光X線分析では、ほぼケイ素( $SiO_2$ )のみであった。比重測定では、2.61の値を示した。

肉眼観察による特徴、化学組成、比重より、材質は玉髄と考えられる。

玉髄は、石英の微小結晶が網目状に集まった緻密集合体で、ほぼケイ素( $SiO_2$ )のみからなり、微量の不純物によりさまざまな色調を示す。玉髄のうち、色が帯状または同心円状に配列するものはメノウと呼ばれる。玉髄やメノウは、低温の熱水変質を受けた火山岩の割れ目や、火山岩中の孔隙に二次的に生ずる。また、堆積岩のセメント物質としても産する。

#### 5. おわりに

正木町遺跡の第23次調査により出土した白色半透明の石製勾玉について、石材を検討した結果、玉髄製と確認された。

参考文献

地学団体研究会編(1996)新版地学事典、1443p、平凡社  
黒田吉益・諏訪訪徳(1983)偏光顕微鏡と岩石鉱物[第2版]、343p、共立出版

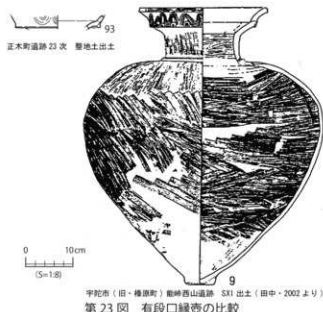
## 第6章 総括

### 1 調査の成果

今回の調査では、遺構・遺物は調査区の全体にわたり確認できたが、その多くは近代以降の攪乱により限定的なものであった。正木町遺跡の主要な時期とされる古墳時代～古代および中世の遺構と判断できるものは、中世末の廃棄土坑と考えられるSX01である。この地での生活が古代で一度途切れたのち、再開されたのがこの時期であったのだろうか。そのほか、下記のような貴重な資料・情報を得ることができた。

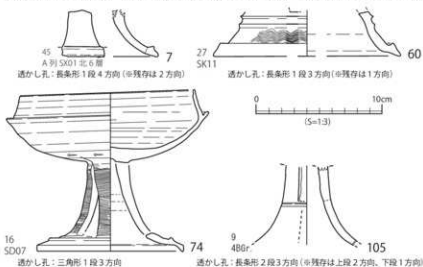
#### 1-1 有段口縁壺について

今回の調査で整地土から出土した第23図93は、有段口縁壺や二重口縁壺と呼ばれる土師器の口縁部と推定され、外面には波状文の一部が残る。この壺とよく似た例として、第23図9で示した奈良県榛原町の能峠西山遺跡から出土した壺(田中 2002)が挙げられよう。この壺は、口径26.6cm、器高58cmで胴部最大径51cm強もある大型壺である。能峠西山遺跡は昭和56(1981)年から奈良県立橿原考古学研究所によって調査された遺跡である。正木町遺跡の壺は残存部位が限られ、判断材料としては乏しいものの、能峠西山遺跡のものよりやや小ぶりな大きさの壺であった可能性がある。時期としては、松戸～宇田式期に該当すると考えたいが、胎土から判断すると搬入品の可能性も指摘したい。



#### 1-2 透かし孔を持つ高坏について

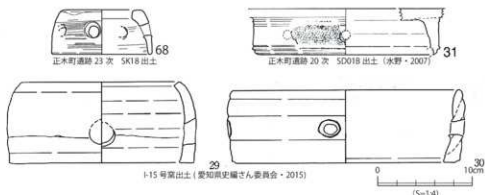
今回の調査では須恵器の高坏が7点出土しており、中でも透かし孔を持つものが4点出土している(第24図)。74は、有蓋高坏で身の部分の口径が13.75cmと大型であることから古墳時代後期(H-10～H-61号窯式期)と考えられる。有蓋高坏の三角形透かし孔は、初期須恵器にみられるようだが(岡田 2009)、尾張では6世紀以降まで残り、H-15号窯式期、I-101号窯式期でも見られるが透かしの大きさは縮小傾向である。



第24図 透かし孔を持つ高坏

## 1-3 円孔透かしを持つ須恵器について

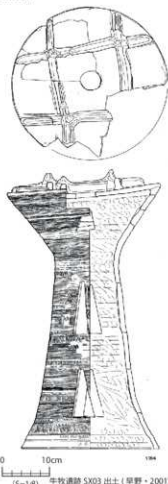
器壁に複数の円孔透かしがある須恵器(第25図68)は本文中では、焼台と考えられると述べた。類似の焼台がI-15号窯(日進市・第25図29・30)で出土している。



第25図 円孔透かしを持つ須恵器

C-2号窯式期(8世紀前半)の窯にあたる。今回の調査で出土した68は、底径は推定10.3cm程度であり、I-15号窯出土のものと比較すると半分ほどの大きさである。また、焼成は軟質で白色を呈し、全面磨耗しているかの印象は受けるものの、内外面ともにイタナデもしくはヘラナデで調整されている。円孔透かしは焼成前に外側から穿孔されており、残存部だけで5ヶ所、推定では6ないし7ヶ所とみられる。

68の焼台以外の用途としては、器台の脚部の可能性も考えられる。類例としては、正木町遺跡第20次調査SD01B出土品(第25図31)があり、7世紀後半～8世紀前半頃の須恵器環・壺、内外面を赤彩された土師器・碗?などと共存している。31は脚部の円孔以外に、櫛歯の刺突が見られ板状の台部に接続する形体と考えられる。器台の他の類例では、伝岡山県出土の子持器台(田辺1981)は、脚部の形状は異なるが脚部上位に円孔透かしている点は類似している。守山区牛牧遺跡SX03の器台は、形状が大きく異なり、3段4方向に透孔が配され、孔の形状は台形である。隅丸方形の遺構の窪地部分に堆積した黄色粘土の広がりで倒れた状態で出土したものである。上面に煤が付着しており、集落内における(屋内?)祭祀場で使用されたものであろう。早野浩二氏は、このような須恵器を集成し、形態から、I群「粘土板の上面に小杯などの子器や小像を貼り付けているもの」とII群「粘土板の上面に子器や小像を貼り付けていないもの」の2種類に分類している。I類は主に古墳から出土し、およそ5世紀後半から6世紀後半、II類は集落から出土し、7世紀後半から8世紀に位置づけられるとしている(早野2001)。本例は脚部が短く、上部が失われているため、I群かII群か判断しがたいが、正木町遺跡第20次調査の出土品に近く、7世紀後半～8世紀前半頃と位置づけておきたい。

第26図 牛牧遺跡出土の  
装飾付器台

正木町遺跡第20次 器台

## 1-4 施釉された須恵器について

須恵器の台付鉢(111、140)は、いずれも体部下半のみの出土である。球形を呈し、外面全体にタタキ痕が施されたのち、下半に高台を貼り付けている。111には内外面に鉄釉と思われる釉薬を薄く塗布している。

須恵器への施釉はおこなっていないことが従来の定説であったが、吉村睦志(2012)によると陶器窯の初期須恵器釉の成分分析をおこなった結果、自然釉より鉄分量がはるかに多い釉薬が5世紀前半頃より施釉されており、畿内では大阪府陶器窯TK-73号窯(5世紀前半)、県内でも尾北窯の篠岡窯(7世紀末)や天白区細口下古窯(8世紀末)等の資料で鉄釉を示す成分( $\text{Fe}_2\text{O}_3$ )が確認された。

名古屋市内では尾張元興寺跡第16次調査SK08出土品の甕口縁部(7世紀前半)について、内外面への鉄釉の塗布の可能性を指摘した(樋田・2017)。今次出土した111は、灰色(5Y5/1)もしくは灰オリーブ色(5Y5/2)を呈し、全面に塗布されていた可能性が高い。吉村(2012)によると焼成がよいと釉の発色は黒色や暗褐色で不十分だと赤色を呈することから、本例は釉の焼成は充分だったと思われる。

## 1-5 文字の書かれた器について

灰釉陶器碗(52)の底部に、線刻で「五」または「万」と書かれている。野澤剛幸(元・名古屋市教育委員会学芸員)によれば、細い線刻で書かれている例は少ないとのことである。正木町遺跡第21次調査SK04で出土品の須恵器坏蓋(8世紀前半)には、「元」と刻書されたものがあるが太目の線刻であった。

陶器(127)の底面に「ウン」と墨書があり、仏教の梵字を表しているのかもしれないが、宗教用具ではなく日常の器(徳利)に書かれているため、別の意味で書かれた可能性も残る。



灰釉陶器碗(52) 底部線刻

## 2 石製勾玉

今回の調査で玉髄製勾玉が1点出土した。勾玉は、今から約7,000年前の縄文時代の早期末に始まったとされる。クマやイノシシ、ニホンジカ、イルカなどの動物歯牙に穿孔しペンダントにした牙玉に形状が似ており、祖型のひとつであったと言われる。市内では、熱田区玉ノ井遺跡第3次調査では縄文時代晩期の土製勾玉が出土している。

弥生時代から古墳時代前期になると原産地にほど近い北陸地方を中心にヒスイ製の勾玉が多く作られた。南区見晴台遺跡第39次調査では、堅穴建物から弥生時代後期のヒスイ勾玉が出土している。

古墳時代前期中頃からヒスイ製勾玉と碧玉製管玉を連ねた飾りの増加がみられ、出雲地方では、前期後半には碧玉のほかメノウや水晶、琥珀の勾玉生産が始まり、関東地方でも同様に玉生産が始まる。この頃から穿孔方法も鉄製の錐に切り替わり始め、片面からの穿孔も始まった。玉髄のうち、縞模様のはっきりしているものがメノウ、色が濃く不透明なものが碧玉である。今回出土のものは淡褐色で不透明でありメノウにあたると思われる。

古墳時代中期には滑石製や金属製の勾玉、管玉等の玉類が製作される。滑石は加工し易いため、祭祀用の仮器的な玉(模造品)が大量生産された。玉は人物埴輪に表現されているようにアクセサリーとして使用されるほか、神具や呪術具として使用された(山本 2003・『玉—古代を彩る至宝—』2018)。

大化2(646)年の薄葬令で墳墓の規模などが制限されると、火葬が導入されたこともあり、7世紀末には古墳の築造が終息し、勾玉をはじめとするアクセサリー類も終焉を迎えた。その後、琉球や大和地方などで散在的に勾玉を使用する例はあり、現代においてもお守りや縁起物として、また、伝統的なモチーフとしても使用され、身近な習俗のひとつであることは事実である。

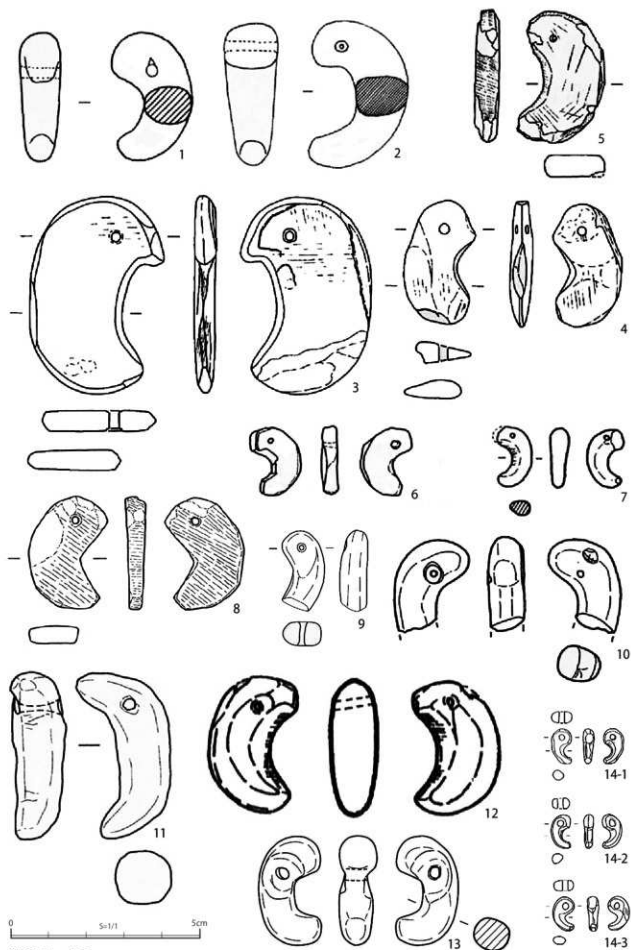
名古屋市内の古墳時代以降の勾玉とそれを模した石製模造品の出土例を第6表にまとめた。これまでは主に古墳から出土する傾向であるが、今回は集落遺跡から出土しており注目される。また、滑石製模造品は、集落遺跡からの出土が一般的で、逆に松ヶ洞 19号墳は特異な出土である。

第5表 勾玉の材質(出典:『玉—古代を彩る至宝—』図5 古墳時代の玉類の材質と形)

| 名称  | 硬度    | 色          | 特徴                                            |
|-----|-------|------------|-----------------------------------------------|
| ヒスイ | 6.5~7 | 緑色~緑白色     | ヒスイ輝石を主成分とし、蛇紋岩中に塊状に産出する。                     |
| 碧玉  | 7     | 濃緑色        | 細結晶性の石英の一種で多量の酸化鉄で着色される。                      |
| メノウ | 7     | 赤褐色~白色     | 細結晶性の石英の一種で白色~赤色の縞模様が特徴。                      |
| 水晶  | 7     | 透明         | 石英のうち、六角錐状、双葉状などの結晶体で透明なもの。弥生~古代に玉素材として多用される。 |
| 滑石  | 1     | 灰色~白色      | 鉱物学上の滑石、蛇紋岩、蛭石、泥岩、頁岩、緑泥片岩の総称                  |
| 琥珀  | —     | 黄色~赤褐色     | 松脂などの樹脂が化石化したもの。                              |
| ガラス | 5     | 青・緑・赤・黄色など | 珪砂に融点を下げるためソーダ灰、鉛丹、木灰などを調合する。                 |

第6表 市内の古墳時代以降勾玉出土例

| 遺跡名      | 所在地 | 出土地点        | 石材        | 時期             | 数量      | 第27図<br>番号 | 出典            |
|----------|-----|-------------|-----------|----------------|---------|------------|---------------|
| 白山蔵古墳    | 北区  | 木箱          | 碧玉        | 4世紀末(または5世紀以降) | 1点      | 1          | 名古屋史 2008     |
|          |     |             | 琥珀        |                | 2点      | 2          | 名古屋史 2008     |
| 志賀公園遺跡   | 北区  | 土器集積 SU12   | 滑石        | 宇田1式2段階        | 模造品1点   | 3          | 名古屋史 2008     |
| 志賀公園遺跡   | 北区  | 土器集積 SU13   | 滑石        | 松河Ⅱ式2段階        | 模造品2点   | 4          | 名古屋史 2008     |
| 竪三蔵通遺跡   | 中区  | 第12次調査      | 緑色片岩      | 古墳時代           | 模造品1点   | 5          | 名古屋史 2008     |
| 伊勢山中学校遺跡 | 中区  | 第5次調査 SB16  | 滑石        | 古墳時代           | 模造品1点   | 6          | 名古屋史 2008     |
| 伊勢山中学校遺跡 | 中区  | 第6次調査・10FGr | 蛇文岩か      | 古墳時代           | 1点      | 7          | 藤部・水野 2013    |
| 正木町遺跡    | 中区  | 第23次調査      | 玉髓        | 古墳時代           | 1点      | —          | 本報告           |
| 尾張元興寺跡   | 中区  | 第8次調査大型覆土   | 滑石か       | 古墳時代           | 模造品1点   | 8          | 野澤 2000       |
| 尾張元興寺跡   | 中区  | 第15次調査      | —         | 古代             | 土製品1点   | 9          | 種田 2015       |
| 三王山遺跡    | 緑区  | 第2次調査・P99   | 碧玉またはチャート | 古墳時代後期         | 1点      | 10         | 名古屋史 2008     |
| 鳴海赤塚古墳   | 緑区  | 横穴式石室       |           | 7世紀前半          | 2点      | 11         | 名古屋史 2008     |
| 板木町遺跡    | 南区  | 扇田町 60番地地点  | 滑石        | 古墳時代           | 模造品1点   | 12         | 名古屋史 2008     |
| 見晴台遺跡    | 南区  | 第53次調査 環壕上層 | 滑石        | 古墳時代           | 模造品1点   | —          | 見晴台考古資料館 2015 |
| 東谷山 12号墳 | 守山区 | 横穴式石室       | メノウ       | 6世紀            | 1点      | —          | 名古屋市博物館 1984  |
| 東谷山白鳥古墳  | 守山区 | 採集品         |           | 7世紀            | 1点      | —          | 即中 1963       |
| 東谷山西麓    | 守山区 | 採集品         |           |                | 3点      | —          | 名古屋市博物館 1984  |
| 塚本古墳     | 守山区 | 横穴式石室       | 蛇紋岩       | 7世紀第2四半期       | 1点      | 13         | 深谷 2011       |
| 松ヶ洞 8号墳  | 守山区 | 粘土椀「1号箱」    | メノウ       | 5世紀末           | 1点      | —          | 名古屋市博物館 1984  |
| 松ヶ洞 19号墳 | 守山区 | 木棺被覆土       | 滑石        | 古墳時代           | 模造品 51点 | 14         | 佐藤 2021       |
| 六ヶ塚第1号墳  | 守山区 | 石組(石室)      | メノウ       | 6~7世紀          | 1点      | —          | 名古屋市博物館 1984  |



第27図 勾玉

## 第6章 総括

### 〈引用・参考文献〉

#### 〈正木町遺跡発掘調査報告書〉

- 伊藤秋男・原久仁子ほか 1997 『正木町遺跡発掘調査報告書』 南山大学大学院考古学研究所報告第7冊 南山大学大学院考古学研究室
- 伊藤厚史 1998 『正木町遺跡(第8次)』 『埋蔵文化財調査報告書 29』 名古屋市文化財調査報告 38 名古屋市教育委員会
- 伊藤祐樹 1969 『正木町遺跡調査速報—破壊に関する問題点』 『名古屋考古学会会報 第12号』
- 伊藤祐樹・小林義孝 1991 『発掘正木町遺跡出土の初期須恵器』 『輪式系土器研究Ⅲ』 輪式系土器研究会
- 伊藤正人 2000 『正木町遺跡(第11次)』 『埋蔵文化財調査報告書 34』 名古屋市文化財調査報告 46 名古屋市教育委員会
- 伊藤正人 2004 『正木町遺跡(第16次)』 『埋蔵文化財調査報告書 49』 名古屋市文化財調査報告 63 名古屋市教育委員会
- 植田晋也 1953 『愛知県名古屋市正木町貝塚』 『日本考古学年報 5』 日本考古学協会
- 岡本敦子 2005 『平成16年度 正木町遺跡発掘調査報告書 名鉄不動産マンション建築工事にかかる埋蔵文化財発掘調査』 名鉄不動産株式会社
- 大杉規之・大西美都 2012 『正木町遺跡 正木一丁目7番地内埋蔵文化財発掘調査報告書』 東建コーポレーション株式会社
- 木村有作 1996 『正木町遺跡第6次発掘調査概要報告書』 名古屋市教育委員会
- 木村有作 2001 『正木町遺跡(第12次)』 『埋蔵文化財調査報告書 38』 名古屋市文化財調査報告 51 名古屋市教育委員会
- 近藤真人・持田通ほか 2006 『正木町遺跡発掘調査報告書 シティコーポ正木建設に伴う発掘調査』 名古屋市住宅供給公社
- 竹内宇哲 1986 『正木町遺跡発掘調査概要報告書』 名古屋市教育委員会
- 竹内宇哲 1988 『正木町遺跡第2次発掘調査概報』 名古屋市教育委員会
- 竹内宇哲 1989 『正木町遺跡第3次発掘調査概報』 名古屋市教育委員会
- 田原和美 1989 『正木町遺跡(第7次)』 『埋蔵文化財調査報告書 29』 名古屋市文化財調査報告 38 名古屋市教育委員会
- 田原和美 1998 『正木町遺跡(第9次)』 『埋蔵文化財調査報告書 29』 名古屋市文化財調査報告 38 名古屋市教育委員会
- 田原和美 1999 『正木町遺跡第10次発掘調査報告書』 名古屋市教育委員会
- 名古屋市埋蔵文化財調査報告書 Ⅲ 正木町遺跡(中区正木町正木小学校所在) 『昭和57年度 埋蔵文化財発掘調査概要報告書』 名古屋市教育委員会

野口泰子ほか 1991 『正木町遺跡第4次発掘調査概要報告書』 名古屋市教育委員会

野口泰子 1996 『正木町遺跡—第5次調査の概要—』 名古屋市教育委員会

野澤剛幸 2001 『正木町遺跡(第13次)』 『埋蔵文化財調査報告書 38』 名古屋市文化財調査報告 51 名古屋市教育委員会

服部哲也 2008 『正木町遺跡(第21次)』 『埋蔵文化財調査報告書 58』 名古屋市文化財調査報告 74 名古屋市教育委員会

日笠真壽郎 2011 『正木町遺跡 正木二丁目3番地内埋蔵文化財調査報告書』 ナカシャクリエティブ株式会社

深谷淳 2007 『正木町遺跡(立会調査)』 『埋蔵文化財調査報告書 55』 名古屋市文化財調査報告 70 名古屋市教育委員会

藤井康隆 2003 『正木町遺跡第15次発掘調査』 『埋蔵文化財調査報告書 41』 名古屋市文化財調査報告 54 名古屋市教育委員会

藤井康隆 2005 『正木町遺跡(第17次)』 『埋蔵文化財調査報告書 51』 名古屋市文化財調査報告 65 名古屋市教育委員会

藤井康隆・深谷淳 2006 『正木町遺跡(第18・19次)』 『埋蔵文化財調査報告書 53』 名古屋市文化財調査報告 68 名古屋市教育委員会

藤井康隆 2006 『正木町遺跡(第18・19次)』 『埋蔵文化財調査報告書 53』 名古屋市文化財調査報告 68 名古屋市教育委員会

水野裕之 2007 『正木町遺跡第20次発掘調査報告書』 名古屋市教育委員会

村本誠 2003 『伊勢山中学校遺跡第14次発掘調査』 『埋蔵文化財調査報告書 41』 名古屋市文化財調査報告 54 名古屋市教育委員会

安田彩音 2021 『正木町遺跡(第22次)』 『埋蔵文化財調査報告書 92』 名古屋市文化財調査報告 109 名古屋市教育委員会

#### 〈古波遺跡群発掘調査報告書〉

伊藤厚史 1989 『伊勢山中学校遺跡—第4次調査概報—』 名古屋市教育委員会

木村光一・村本誠 1996 『埋蔵文化財調査報告書 24 伊勢山中学校遺跡(第5次)』 名古屋市文化財調査報告 31 名古屋市教育委員会

木村有作 2003 『伊勢山興寺跡第10次』 『埋蔵文化財調査報告書 48』 名古屋市文化財調査報告 62 名古屋市教育委員会

田邊一久 2022 『伊勢山中学校遺跡第13次発掘調査報告書』 野村不動産株式会社・株式会社イビソク

野澤剛幸 2000 『伊勢山興寺跡第8次発掘調査報告書』 名古屋市教育委員会

服部哲也 2003 『伊勢山中学校遺跡第10次』 『埋蔵文化財調査報告書 48』 名古屋市文化財調査報告 62 名古屋市教育委員会

服部哲也・水野裕之ほか 2013 『埋蔵文化財調査報告書 68 伊勢山中学校遺跡(第6・7次)』 名古屋市文化財調査報告 85 名古屋市教育委員会

植田泰之 2015 『伊勢山興寺跡第15次発掘調査報告書』 ナカシャクリエティブ株式会社

植田泰之 2017 『伊勢山興寺跡第16次発掘調査報告書』 ナカシャクリエティブ株式会社

#### 〈名古屋市〉

新修名古屋市史料資料編集委員会編 2008 『新修名古屋市史 資料編 考古1』 名古屋市

新修名古屋市史料資料編集委員会編 2013 『新修名古屋市史 資料編 考古2』 名古屋市

#### 〈陶磁器関係資料〉

愛知県史編さん委員会編 2015 『愛知県史 別編 窯業1 古代 窯投系』 愛知県

愛知県史編さん委員会編 2007 『愛知県史 別編 窯業3 中世・近世 瀬戸系』 愛知県

愛知県陶磁資料館学芸課編 1986 『企画展 城下町のやきもの—清洲・名古屋の出土品—』 愛知県陶磁資料館

江戸遺跡研究会編 1992 『江戸の食文化』 吉川弘文館

- 岡田桂司 2009『古墳時代における三角形透孔を有する高杯の系譜』『花園大学考古学研究所』花園大学考古学研究室 30 周年記念論集刊行会  
金子健一 1996『尾張・三河地方のホロク』『瀬と豊 そのデザイン』第4回考古学フォーラム 東海考古学フォーラム尾張大会実行委員会  
古泉 弘 2013『事典 江戸の暮らしの考古学』株式会社吉川弘文館  
瀬戸市歴史民俗資料館編 1994『特別展 戦争とやきもの』瀬戸市歴史民俗資料館  
瀬戸市歴史民俗資料館編 2001『〈代用品〉としてのやきもの』瀬戸市歴史民俗資料館  
田中史久 2002『有段円縁高杯の成立と展開—特化への道程・類型と2地域の分析—』『土庫 第6号』土庫舎  
田辺昭三 1981『須恵器大成』角川書店  
趙 榮清訳 高 正龍『三角透孔高杯に対する一考察』『韓式系土器研究Ⅱ』韓式系土器研究会  
東海土器研究会編 2000年『須恵器生産の出現から消滅—量産型・湖西産の再構築—』東海土器研究会  
中野剛久 2012『第1章 総論 第3節 常滑窯 赤物産年表』『愛知史 別編 宮室 3 中世・近世 常滑系』愛知史編さん委員会  
早野浩二 2001『第三章出土遺物 第三節 古墳時代後期の遺物』『牛牧遺跡(財)愛知県埋蔵文化財センター  
松村冬樹 1995『特別展 城下町大発掘』名古屋市見晴台考古資料館  
吉村睦志 2012『第4章 須恵器系土器』『日本古代陶系譜 灰釉・鉛釉・鉄釉』株式会社アットワークス
- 〈玉・祭祀関係資料・発掘調査報告書〉  
伊藤正人 1993『愛知—古墳時代の祭祀関係遺跡・遺物—』『第2回東日本埋蔵文化財研究会 古墳時代の祭祀—祭祀関係の遺跡と遺物—』東日本埋蔵文化財研究会  
木村有作・山田鑑一 2003『見晴台遺跡第39・40・41次発掘調査の記録』名古屋市見晴台考古資料館  
佐藤好司 2021『第4章まとめ 2. 滑石製勾玉について』『松ヶ岡19号墳発掘調査報告書』株式会社ハウス・サポート・株式会社C-ファクトリー  
磯藤茂 2003『玉ノ井遺跡第3次 第2章調査概要 第2節遺構と遺物(1)縄文時代4. 出土遺物 土製品』埋蔵文化財調査報告書44 玉ノ井遺跡(第3・4次)名古屋教育委員会  
古代歴史文化協議会編 2018『玉—古代を彩る至宝—』ハーベスト出版  
小山浩和 2023『令和5年度企画図録 勾玉の世界』鳥取県立博物館  
斎藤あや・林正之 2022『勾玉 特別展 大勾玉展 図録』大田区郷土博物館  
田中 稔 1963『第四章 白鳥第1号墳の調査 4 出土遺物』『守山の古墳』守山市教育委員会  
名古屋博物館 1984『守山の遺跡と遺物』名古屋博物館  
名古屋市見晴台考古資料館 2015『1 事業報告 3埋蔵文化財の発掘調査(見晴台遺跡(第53次))』『名古屋市見晴台考古資料館 年報31 2013(平成25)年度事業報告』名古屋教育委員会  
深谷 淳 2011『埋蔵文化財調査報告書64 塚本古墳』名古屋教育委員会  
西本昌司・磯藤 茂・山口浩一 2015『名古屋市見晴台遺跡および三王山遺跡から発見された勾玉の非破壊分析』名古屋科学館紀要 第41号 名古屋科学館  
早野浩二 2006『一帯内遺構・遺物集成—石製模造品』『設立20周年記念論集 研究紀要第7号』(財)愛知県埋蔵文化財センター  
水野裕之 1999『弥生・古墳時代からみた明日遺跡とその周辺—愛知県の出土資料から—』『名古屋市見晴台考古資料館研究紀要 第1号』名古屋市見晴台考古資料館  
山本 彰 2003『二 玉の種類・用途・その力』『平成15年度春季特別展 黄泉のアクセサリ—古墳時代の装身具—』大阪府立近つ飛鳥博物館
- 〈地誌・地名資料〉  
池田誠一 2012『なごやの鎌倉街道をさがす』風媒社  
角川日本地名大辞典編纂委員会・竹内理三編 1989『角川日本地名大辞典 23 愛知県』角川書店  
水野時二・林 薫一ほか監修 1992『なごやの町名』名古屋市計画局



1 調査区全景（北から）



2 1列東側完掘（北西から）



3 SX01 完掘 (南東から)



4 SX01 完掘 (北東から)

遺構写真3



5 C列北側完掘 (南西から)



6 B列南側完掘 (南西から)



7 A列西壁 15m 付近 (東から)



8 SX01aa' ライン南壁堆積状況上層 (南から)



9 SX01aa' ライン南壁堆積状況下層 (南から)



10 B列東壁 20m 付近 (西から)



11 C列東壁 4m 付近 (西から)



12 1列北壁 12m 付近 (南から)



13 1列南壁(北東から)



14 2列完掘(東から)



15 B列KLライン西壁(東から)



16 B列RQライン北壁1.5m付近(北から)



17 B列TSライン東壁1.5m付近(東から)



18 SX01 堆積状況(南東から)



19 SK01 完掘(西から)



20 SK06・P66 完掘(北西から)

遺構写真5



21 SK07 完掘 (北から)



22 SK08 完掘 (北から)



23 SK09 完掘 (南から)



24 SK11 完掘 (南から)



25 SK14 完掘 (西から)



26 SK18 周辺掘削状況 (南東から)



27 SK18 完掘 (北東から)



28 SK21 掘削状況 (西から)



29 SD07 完掘・SK02・SK03・SK23 検出 (西から)



30 SK23 完掘 (南東から)



31 SD08 完掘 (東から)



32 P09・P15・P56 完掘 (南東から)



33 P24・P25・P26 周辺掘削状況



34 P40・SE01 完掘 (東から)



35 P48・SK14 完掘 (東から)



36 P70 完掘 (西から)

遺構写真7



37 P70 完掘・SE03 検出 (南西から)



38 P83 完掘 (南から)



39 SD09 検出 (南から)



40 SD10 完掘 (南から)



41 試掘トレンチ1 (東から)



42 試掘トレンチ1 東壁 (西から)



SX01 No.1~13



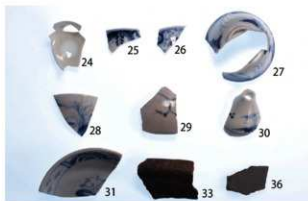
SX01 No.9 内面



SK01 No.14,15



SK06 No.16~23



SK06 No.24~31,33,36



SK06 No.32,34,35



P66 No.37~42



SK06・P66 No.43,44



SK06・P66 No.45,46



SK07 No.47,48



SK08 No.49 ~ 52



SK08 No.50



SK09 No.53 ~ 59



SK11 No.60,61



SK12 No.62



SK14 No.63 ~ 67



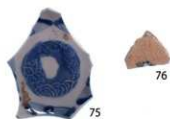
SK18 No.68



SK21 No.69



SD07 No.74・カキ目拡大



SD02 No.75 SD08 No.76



SK23 No.70～72 SD07 No.73



ビット No.77,78,80,86～90



ビット No.79



ビット No.81～85,91,92



整地土 No.93 ~ 101



整地土 No.93 拡大



整地土 No.102 ~ 111



整地土 No.111 外面・内面



整地土 No.112 ~ 116



整地土 No.117 ~ 126



整地土 No.127 ~ 132



整地土 No.133,134



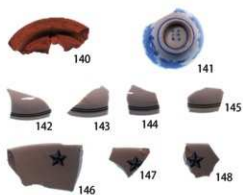
整地土 No.135



整地土 No.136



攪乱 No.137 ~ 139



表土・表採 No.140 ~ 148



試掘 No.149



(参考) 尾張元興寺跡第 16 次調査 SK08 甕口縁部



(参考) 尾張元興寺跡第 16 次調査 SK08 甕口縁部



(参考) 尾張元興寺跡第 16 次調査 SK08 甕口縁部

# 報告書抄録

|        |                                                                                                                                                         |       |      |              |                |                                    |             |               |
|--------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|------|--------------|----------------|------------------------------------|-------------|---------------|
| ふりがな   | まいぞうふんかざいちょうさほうこくしょ                                                                                                                                     |       |      |              |                |                                    |             |               |
| 書名     | 埋蔵文化財調査報告書                                                                                                                                              |       |      |              |                |                                    |             |               |
| 副書名    | 正木町遺跡(第23次)                                                                                                                                             |       |      |              |                |                                    |             |               |
| 巻次     | 93                                                                                                                                                      |       |      |              |                |                                    |             |               |
| シリーズ名  | 名古屋市文化財調査報告                                                                                                                                             |       |      |              |                |                                    |             |               |
| シリーズ番号 | 110                                                                                                                                                     |       |      |              |                |                                    |             |               |
| 編著者名   | 樋田泰之(編著)・伊藤厚史・片桐妃奈子・織田茂・竹原弘展                                                                                                                            |       |      |              |                |                                    |             |               |
| 編集機関   | 名古屋市教育委員会事務局生涯学習部文化財保護課                                                                                                                                 |       |      |              |                |                                    |             |               |
| 所在地    | 〒461-0001 愛知県名古屋市東区泉一丁目1番4号 Tel: 052-253-9279 Fax: 052-253-9217                                                                                         |       |      |              |                |                                    |             |               |
| 発行機関   | 名古屋市教育委員会事務局生涯学習部文化財保護課                                                                                                                                 |       |      |              |                |                                    |             |               |
| 所在地    | 〒461-0001 愛知県名古屋市東区泉一丁目1番4号 Tel: 052-253-9279 Fax: 052-253-9217                                                                                         |       |      |              |                |                                    |             |               |
| 発行年月日  | 西暦 2025 年(令和 7 年) 7 月 31 日                                                                                                                              |       |      |              |                |                                    |             |               |
| ふりがな   | ふりがな                                                                                                                                                    | コード   |      | 北緯           | 東経             | 調査期間                               | 調査面積<br>(㎡) | 調査原因          |
| 所収遺跡名  | 所在地                                                                                                                                                     | 市町村   | 遺跡番号 | °'N          | °'E            |                                    |             |               |
| 正木町遺跡  | 名古屋市中区正木一丁目17-33                                                                                                                                        | 23100 | 7-19 | 35° 8' 58.6" | 136° 53' 49.4" | 2020 年 7 月 13 日～<br>2020 年 9 月 3 日 | 216.68      | 仮設校舎<br>新設のため |
| 所収遺跡名  | 種別                                                                                                                                                      | 主な時代  |      | 主な遺構         |                | 主な遺物                               | 特記事項        |               |
| 正木町遺跡  | 散布地 貝塚                                                                                                                                                  | 古墳    |      | 土坑、ピット       |                | 土師器、須恵器、<br>勾玉                     | 第23次調査      |               |
| 要約     | 正木町遺跡は、熱田台地上に立地する集落遺跡であり、弥生時代から中世にかけての遺跡である。市立正木小学校の仮設校舎を建設するための事前調査として実施した。土坑、ピット等多数検出した。近代以降の学校関連施設建設により攪乱を大きく受けていたが、土師器、須恵器、玉髄製勾玉など古墳時代から古代の遺物が出土した。 |       |      |              |                |                                    |             |               |

## 名古屋市文化財調査報告 110 埋蔵文化財調査報告書 93

### 正木町遺跡(第23次)

2025 年 7 月 31 日発行

発行 名古屋市教育委員会事務局生涯学習部文化財保護課  
〒461-0001 愛知県名古屋市東区泉一丁目1番4号  
Tel: 052-253-9279

印刷 西濃印刷株式会社